

シスメックス あんしんレポート 2013

CSR報告書



編集にあたって

編集方針

シスメックスの社会的責任(CSR)に関する考え方とその活動について、ステークホルダーの皆様へお伝えし、皆様との対話を深めることを目的として、毎年「シスメックスあんしんレポート」を発行しています。

第7回目の発行となる今回は、海外での取り組みを従来よりも多く紹介しています。また、網羅的に情報を掲載した「詳細版」と、写真やイラストを豊富に用いて読みやすさ・親しみやすさを追求した「ダイジェスト版」の2通りの報告書をご用意しました。

また、Webサイトでは、方針や体制などの恒常的なCSR情報を開示しています。これによって、読んでいただく方の専門性や興味の違いに応じて、より適した報告形態を選んでいただけるようにしています。

報告範囲

対象期間

2012年度(2012年4月1日から2013年3月31日)を中心に、一部それ以外の期間の活動についても記載しています。

対象組織

原則としてシスメックスグループ(シスメックス株式会社および国内・海外グループ会社)を対象としています。本報告書中の「シスメックス」はシスメックスグループを、「シスメックス(株)」は、シスメックス株式会社単体を指します。

参考にしたガイドライン

- ・環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」
- ・GRI(Global Reporting Initiative)「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン第3.1版」



発行時期

2013年8月

本報告書に関するお問い合わせ先

シスメックス株式会社 経営企画本部 CSR・環境推進部
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1
Tel 078-265-0500(代表) Fax 078-265-0524

将来に関する予測・計画について

本報告書には、シスメックス株式会社とそのグループ会社に関する過去の事実だけでなく、将来の予測・計画なども記載しています。これらの予測・計画は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、不確実性が含まれています。したがって、将来の事業活動の結果や将来に起こる事象が本報告書に記載した予測・計画とは異なったものとなる可能性があります。読者の皆様には、以上をご承知いただきますようお願いいたします。



目次

シスメックスについて 3

トップメッセージ 5

特集 1

米州統括現地法人のオフィスを拡張・
移転し、顧客サポート体制を強化 7



特集 2

「環境」と「人」に優しい工場を目指して
中国済南工場をリニューアル 9



組織統治 11

人権／労働慣行 16

環境 21

公正な事業慣行 28

消費者課題 30

コミュニティへの参画およびコミュニティの開発 34

第三者意見 41

会社情報 42

シスメックスについて

ヘルスケアにおける「検査」の領域で世界中に製品・サービスをお届けしています。

患者さんから採取した血液や尿、細胞などを調べる検体検査は健康状態の確認や治療方針の決定にあたって重要な役割を果たします。シスメックスは、研究開発から生産、販売、サービス&サポートまでの一貫体制のもと、検体検査分野を中心に、さまざまな機器や試薬を170カ国以上のお客様に提供し、人々の健康と生命を支えています。



身近なところで、シスメックスの製品が活躍しています。

① 病院

当社の製品は、外来・入院検査や人間ドックでの血液検査などに用いられ、身体の各器官・各組織の機能低下や異常の発見に役立っています。



全自動血液凝固測定装置
「CS-5100」



多項目自動血球分析装置
XNシリーズ「XN-2000」



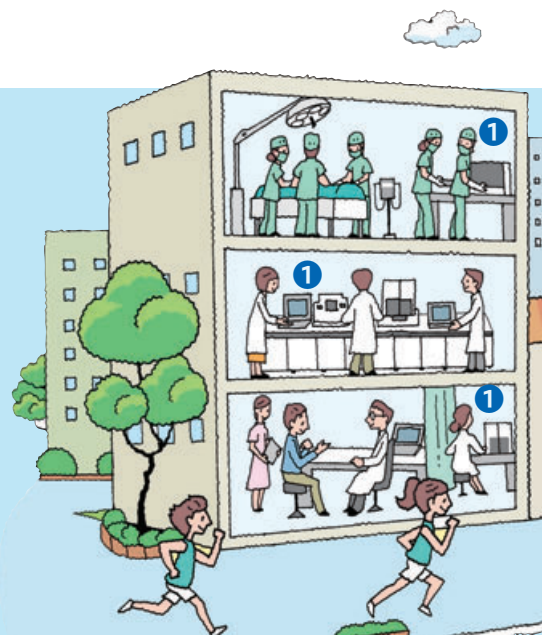
遺伝子増幅検出装置
「RD-100」



全自動免疫測定装置
「HISCL-5000」



XNシリーズ試薬



▼研究開発から生産、販売、サービス&サポートまでの一貫体制



研究開発

価値の高い検査・診断技術を創出



生産

品質を確保し、製品を安定的に供給



販売

170カ国以上に製品・サービスを提供



サービス&サポート

お問い合わせにきめ細かく対応

▼グローバルネットワーク～世界170カ国以上に製品・サービスを提供

EMEA※

※ EMEA: 欧州、中東、アフリカ地域。

関係会社 …… 18社
従業員数 …… 1,149名

中国

関係会社 …… 4社
従業員数 …… 293名

米州

関係会社 …… 4社
従業員数 …… 775名

日本

シスメックス株式会社

関係会社 …… 7社
従業員数 …… 2,282名

アジア・パシフィック

関係会社 …… 11社
従業員数 …… 349名

- 販売
- ▲ 開発
- ◆ 製造
- 統括拠点



② 動物病院

犬や猫などのペットをはじめ、水族館のイルカや動物園の動物たちの健康管理にも、当社製品は役立てられています。



動物用 多項目自動血球計数装置
[pocH-100iV Diff]

③ 薬局

身体測定結果と生活習慣などの設問への回答を入力するだけで健康状態に関する情報が得られるシステムを提供しています。



健康管理支援ソフトウェア
「プロウェル」

④ スポーツ施設

当社のヘモグロビン量を測定できる装置は、スポーツジムや学校の運動部などでトレーニングプログラム作成や栄養管理などに活用されています。



末梢血管モニタリング装置
「ASTRIM SU」

世界中の人々に「健康」と「安心」をお届けしていきます。

ヘルスケアの進化に挑戦し、世界中の人々の「健康」への願いに応えていきます。

シスメックスは、1968年の創業以来、検体検査の分野で先進の技術をベースに、さまざまな製品やサービスを生み出してまいりました。検体検査は、ヘルスケアの分野において病気の早期発見や治療方針の決定、疾病予防に重要な役割を果たします。

社会構造の変化にともない、医療を取り巻く環境は近年、大きく変わりつつあります。新興国では、経済発展と人口増加が進み、医療ニーズが増大しています。また、先進国では、少子高齢化や健康に対する価値観の多様化が進んでいます。現在、世界170カ国以上で製品をご使用いただいているシスメックスは、こうした環境変化をいち早く捉え、「健康でありたい」という人々の願いに応えたいと考えています。

2012年度は、主力の血液検査分野の最上位機種「XNシリーズ」がアメリカ、中国で認可を取得しました。すでに認可取得済みの日本、欧州、アジア・パシフィックとあわせて世界展開を加速してまいります。この「XNシリーズ」は機能性の向上に加え、検査現場での使いやすさを重視したデザインが評価され、前年度受賞した日本の「グッドデザイン金賞」に引き続き、ドイツのデザイン賞「iF product design award 2013」を受賞いたしました。

また感染症、がん、心疾患などの診断に役立つ免疫血清検査分野の新モデル全自動免疫測定装置「HISCL-5000」を日本で発売しました。「HISCL-5000」は、機能性、高速性を進化させ、診療前検査の実現による患者さんへのサービス向上、検査部門の効率化の実現を目指しています。

さらに、ライフサイエンス事業では、リンパ節転移迅速検査システムにおいて従来の乳がん、大腸がんに加えて、胃がんへの適用拡大の承認を厚生労働省より取得しました。その他のがん種におけるリンパ節転移迅速検査の標準化にも取り組んでまいります。

シスメックスは、今後も「ヘルスケアの進化をデザインする」というMissionのもと、患者様や健康を望む方々のQOL(Quality Of Life)向上に役立つ価値の高い検査・診断技術の創出に取り組むとともに、医療機関の検査業務の効率化・質の向上に努めてまいります。

すべてのステークホルダーに「安心」をお届けしていきます。

シスメックスは、グループ企業理念である「Sysmex Way」に基づき、ステークホルダーの皆様には「安心」をお届けするという考え方を大切にしています。

2012年度は、米州統括現地法人シスメックス・アメリカのオフィスを拡張・移転し、広大な米州地域に対応する新たなサービス&サポートを開始しました。その一つが、特設スタジオから検査装置の操作方法や緊急時の修理方法などをライブ中継する動画配信サービスです。これらのサービスを充実させることで、お客様の満足度向上に向けて取り組んでいます。

また、中国では急速に拡大する検査需要に応えるために済南工場をリニューアルしました。新工場は、従業員の働きやすい職場づくりや地球環境との調和に配慮しています。

さらに、ヘルスケアに関わる企業として、スポーツを通じた健康社会づくりに貢献したいという思いから、第1回大会より継続して「神戸マラソン」に特別協賛しています。今年も神戸の街を駆け抜ける約2万名のランナーを応援し、大会をサポートしてまいります。

新しいグループ中期経営計画をスタートさせました。

2013年4月、グループの高成長の持続と収益性のさらなる向上を目指し、新たなグループ中期経営計画をスタートさせました。ビジネスユニット体制による各検査分野の事業推進体制の強化、研究開発への継続的投資、生産拠点の整備による生産能力の増強など、

将来の成長に向けた基盤整備を進めています。また、独自の技術やビジネスモデルにより新たな価値を創造するとともにスピードと実行を重視する企業を目指して取り組んでまいります。

シスメックスは2011年から国連グローバル・コンパクト(GC)に参加しており、このGCの10原則と、社会的責任の国際規格ISO26000を踏まえた「CSR中期計画」を2013年4月からスタートさせました。同計画に基づいて、社会的課題の解決を目指したCSRマネジメントを推進してまいります。

これからもグループと地球社会の持続的な発展を実現するために挑戦を続けてまいります。ステークホルダーの皆様には、今後ともいっそうのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013年8月

代表取締役会長兼社長

冢 次 恒

シスメックスグループ企業理念

Sysmex Way

Mission

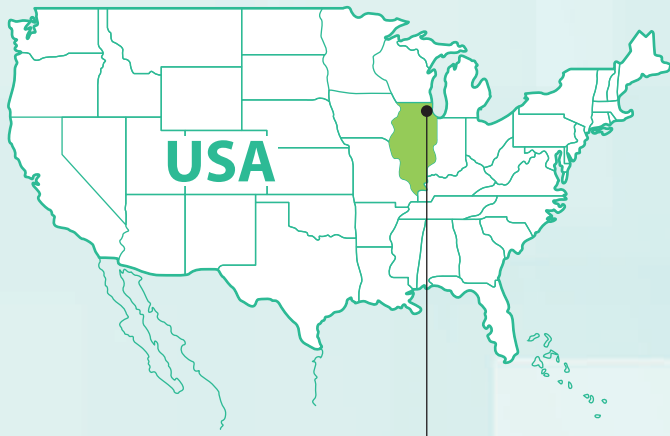
ヘルスケアの進化をデザインする。

Value

私たちは、独創性あふれる新しい価値の創造と、人々への安心を追求し続けます。

Mind

私たちは、情熱としなやかさをもって、自らの強みと最高のチームワークを発揮します。



Sysmex America, Inc.

シスメックスグループの米州統括現地法人
所在地：米国シカゴ
事業内容：検体検査機器、検体検査試薬の販売



エントランス



カフェテリア



コラボレーションエリア



シヨールーム

米州統括現地法人のオフィスを拡張・移転し、顧客サポート体制を強化

カナダ、中南米を含む米州地域の統括現地法人シスメックス・アメリカは、オフィスを拡張・移転しました。米州市場の拡大する需要に応じて、お客様へのサービス&サポートをいっそう強化していきます。

独自のサービスを活用した高いサービス品質で 13年連続顧客満足度No.1を獲得

シスメックスは1979年、米国のシカゴに子会社を設立し、2003年には世界最大の市場である米州地域の統括現地法人Sysmex America, Inc. (以下シスメックス・アメリカ)として、現地での直接販売・サービスを開始しました。

それ以降、顧客満足度向上を目指し、独自のサービス&サポートを展開してきました。多くのお客様にご利用いただいているオンラインネットワークサポートサービスSNCS (Sysmex Network Communication Systems) は、ネットワークを通じてお客様の装置の状態をリアルタイムに把握することで、装置の安定稼働を支援します。

このようなサービス体制や取り組



みを評価していただき、血球分析装置メーカーに関する顧客満足度調査※1では、13年連続で顧客満足度No.1を獲得しています。

さらに、サービス品質の高さが評価され、「ACE (Achievement in Customer Excellence) Award」※2を2年連続で受賞しました。

※1 米国IMV社によるユーザー調査 (IMV Service Track)。

※2 米国MarketTools社による、顧客、従業員、およびパートナー満足について優れた実績を認定するプログラム。

事業展開を加速するために オフィスを拡張・移転

シスメックス・アメリカは、近年の米州市場における事業拡大やさらなる成長戦略の実現に向けて、2012年9月にオフィスを拡張・移転しました。

新オフィスは、従来のオフィスから程近く、シカゴ・オヘア国際空港からもアクセスの良い好立地となっています。新オフィス稼働後も、従来のオフィスは継続使用し、実際の製品を活用したトレーニングサービス

オープニングセレモニー

2012年9月に行われたオープニングセレモニーには、地元の市長やお客様、従業員など計300名以上が参加しました。



をお客様に提供します。また、新オフィスには十分な拡張スペースを備えており、今後にわたり、成長に応じて規模拡大に対応することが可能です。

バーチャルカスタマートレーニングでサービス体制を強化し、環境負荷も低減

シスメックス・アメリカの販売・サービス対象エリアは広大で、米国内だけでも時差が4時間あります。そこにカナダも加えた広い地域のお客様に対してサービス&サポートをお届けするために、新たにバーチャルカスタマートレーニングサービスを開始しました。

これは新設された専用スタジオから、ご契約いただいたお客様に向けて検査装置の操作方法をライブ中継する動画配信サービスで、検査スタッフの経験や習熟度に応じて、検査装置の操作方法や緊急時の修理方法などの教育プログラムを配信しています。

このサービスを活用することで、お客様がトレーニングのたびにシカゴに足を運んでいただく時間・コストなどが

動画配信

バーチャルカスタマートレーニングサービス

新オフィス



シスメックス・アメリカ

検査装置の操作方法を動画で配信できる設備を完備



動画の撮影

ネットワーク



お客様と双方向の通信を実現

低減されます。さらに、移動にともなうCO₂排出を抑制できるなど、環境負荷の低減にも寄与します。

今後もシスメックスは、米国のみならず世界各地で、お客様のニーズに対して、充実した製品、サービス&サポートでお応えし、医療の発展に貢献していきます。

従業員の声

遠方のお客様のご負担を軽減

シスメックス・アメリカ
カスタマートレーニング

Zach Siejka



このたび、オンラインを活用してハイクオリティなトレーニングを提供するスタジオを新設しました。

動画配信によるトレーニングプログラムを採用することで、お客様が勤務先で、“just in time”で受けたいときに受けたいトレーニングを受講できるようになりました。このトレーニング配信方法を確立し、シスメックスは他社メーカーよりもハイクオリティな価値の提供を目指していきます。



China

済南工場
 (済南希森美康医用電子有限公司)
 所在地: 中国山東省済南市
 事業内容: 検体検査試薬の
 製造および販売



厚生棟



工場棟



ビオトープ



正門・守衛室

「環境」と「人」に優しい工場を目指して 中国済南工場をリニューアル

シスメックスは中国で試薬生産を担う済南工場をリニューアルし、2012年4月から生産を開始しました。「環境」「人」「品質・効率」「将来性」に配慮した先進の試薬生産工場として、急速に拡大する中国市場での需要に応えていきます。

中国市場での検査需要の拡大に応え、 試薬を安定供給するために

シスメックスは、1995年、中国で最初の試薬生産工場済南工場を、2003年には無錫工場を設立し、中国市場への試薬の安定供給に努めてきました。

近年、急速な経済発展が進む中国では、医療制度改革によって医療環境の整備が進められ、検査への需要が拡大しています。そこで、今後も成長を続ける中国市場の需要に柔軟に対応していくために、試薬生産拠点である済南工場をリニューアルし、2012年4月から稼働しました。

「環境」と「人」に優しい 工場づくりを目指して

新工場は、CSRの観点から、「ECOファクトリー(環境)」「Humanファクトリー(人)」「High Qualityファクトリー(品質・効率)」「Flexibleファクトリー(将来

性)」の4つのコンセプトを設定し、これに基づいて建設されました。

地球に優しい工場を目指して、限りある資源の有効活用、緑化推進などに配慮しています。例えば、高効率の空調、自動点灯・消灯の照明、太陽光発電を採用した外構夜間照明などの省エネ設備を導入しています。また、洗浄工程の配管設備などにも省エネ設計を採用しています。さらに、屋上や屋外空間を緑化することで工場内の室温上昇を抑えています。

また、貴重な人財である従業員が安心して快適に働ける職場づくりを目指して、安全で衛生的な労働環境を追求しました。例えば、重量物製品の搬送を機械化することで、労働災害の低減を図っています。また、快適な職場環境にするために、作業室はリフレッシュ効果が高いといわれる自然光を取り入れ、明るく健やかな空間を形成しています。さらに、食堂やレクリエーション室などの福利厚生施設も充実させるとともに、屋外にビオトープや散策小路なども設け、自然に触れることで気分をリフレッシュできるようにしています。

環境

地球環境に配慮した工場

- ・空調・照明などに省エネ設備を導入
- ・配管の省エネ設計
- ・外構夜間照明に太陽光発電を採用
- ・工場棟屋上の緑化



太陽光発電照明

ECO
ファクトリー

Human
ファクトリー

新工場の特徴

High
Quality
ファクトリー

Flexible
ファクトリー

人

従業員の生産性・モチベーション向上

- ・重量物製品搬送の機械化
- ・作業室への自然光取り入れ
- ・オープンテラス・ピオトープと散策小路の設置
- ・開放感のある食堂・レクリエーション室の設置

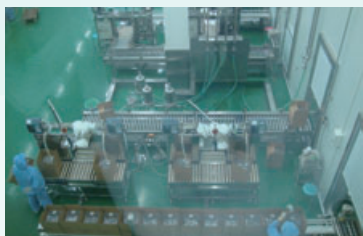


外光が差し込む明るい食堂

品質・効率

お客様が安心・満足して使用できる製品生産

- ・工程自動化による品質ばらつきを抑え込み
- ・工程自動記録による品質チェックの強化
- ・工場見学に配慮したレイアウト



工場見学通路から見た新しい生産ライン

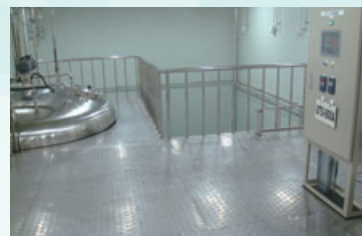
リニューアルの4つのコンセプト

工場としての品質・効率の追求や将来にわたる拡張性はもとより、CSRの観点から地球環境や従業員にも配慮しています。

将来性

中国市場の急激な伸びに対応

- ・主力製品生産場所の拡充
- ・拡張可能な生産ラインの設置
- ・生産形態の異なる製品用拡張スペースの確保



拡張可能な生産エリア

将来を見据えて、高効率で柔軟性の高い生産スペースを構築

「環境」と「人」に並んでコンセプトに掲げているのが、「品質・効率」と「将来性」です。済南工場は、お客様が安心・満足して使用できる製品を生産する工場を目指して、「品質・効率」を追求してきました。今回のリニューアルでも、確かな品質をつくり込む自動化ラインと、訓練された臨機応変な人の技とを調和させる新しい生産ラインを構築しています。また、お客様の要望に応じて工場見学ができるように配慮したレイアウトを採用しています。

さらに、人口増加や検査需要増加など、現地市場の「将来性」を見据えた設計とし、主力製品の生産エリアでは従来の約5倍の生産が可能となりました。

中国、ひいてはアジアの検査需要に将来にわたってお応えし、現地の医療レベル向上と患者様のQOL向上に貢献するために、これからも市場環境や成長性にあわせた生産体制を整備していきます。

従業員の声

働きやすくなった新工場から優れた製品を提供

済南シスメックス 経営企画部
刘彤(Liu Tong)



新工場が稼動し、動線が短縮されたことによって作業効率が向上しました。また、自動化設備の導入によって従業員への負荷も軽減されたため、生産能力が向上するとともに労働環境もよくなりました。緑も豊かで昼休みに自然を眺めながら食事できるので、とても快適です。

この働きやすくなった新工場でも、今後も優れた製品を継続的、安定的にお客様へ届けられるよう、従業員一同努力します。

社会から信頼される企業を目指して

シスメックスは、経営の健全性と透明性を高め、経営効率を向上させるためにコーポレート・ガバナンス体制の強化に取り組んでいます。また、ステークホルダーの皆様の立場を尊重し、高い倫理観に基づく正々堂々とした事業活動を追求しています。

シスメックスグループ企業理念

Systemex Way

Mission

ヘルスケアの進化をデザインする。

Value

私たちは、独創性あふれる新しい価値の創造と、人々への安心を追求し続けます。

Mind

私たちは、情熱としなやかさをもって、自らの強みと最高のチームワークを発揮します。

行動基準

お客様に対して

常にお客様の視点で行動し、確かな品質ときめ細やかなサポートにより、お客様に安心を届けます。常にお客様が真に求めるものが何かを追求し、お客様の期待を超える新しい価値を提案します。

従業員に対して

多様性を受け入れ、一人ひとりの人格や個性を大切にすると共に、安心して能力が発揮できる職場環境を整えます。自主性とチャレンジ精神を尊重し、自己実現と成長の機会、成果に応じた公正な処遇を提供します。

取引先に対して

公平・公正を基本とした幅広い取引により、取引先の皆様に安心を届けます。相互の信頼関係と研鑽により、取引先の皆様と共に発展する企業をめざします。

株主様に対して

経営の健全性と透明性を高め、積極的な情報開示とコミュニケーションで、株主の皆様に安心を届けます。堅実かつ革新的な経営を推進し、持続的な成長と株主価値の向上に努めます。

社会に対して

法令遵守はもとより、常に高い倫理観にもとづいた事業活動を推進し、社会の全ての皆様に安心を届けます。環境問題をはじめ地球や社会が抱える様々な問題の解決に、社会と共に取り組みます。

CSR活動の推進

シスメックスのCSRは「Systemex Way」の実践を通じて皆様に「安心」をお届けすること

シスメックスのCSRとは、シスメックスグループ企業理念「Systemex Way」の実践を通じて、ステークホルダーの皆様に「安心」をお届けすることと考えています。「Systemex Way」は、企業活動の最も基本的なあり方を示したもので、シスメックスが社会に貢献し、そして成長し続けるために必要なMission、Value、Mindの3つの要素で構成しています。さらに「行動基準」では、お客様、従業員、取引先、株主、社会というそれぞれのステークホルダーの皆様に対する提供価値を明確にしています。シスメックスは、グループの従業員一人ひとりが「Systemex Way」を共有し、日常の業務の中で具体的な行動に移すことを大切にしています。

また、2011年2月には、CSRへの取り組みをさらに積極化するために、国連グローバル・コンパクトに参加し、「人権」「労働基準」「環境」「腐敗防止」に関わる10原則の実践に取り組んでいます。



国連グローバル・コンパクトの10原則

人権	1. 企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持し、尊重すべきである。
	2. 企業は、自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。
労働基準	3. 企業は、組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持すべきである。
	4. 企業は、あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである。
	5. 企業は、児童労働の実効的な廃止を支持すべきである。
環境	6. 企業は、雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。
	7. 企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである。
	8. 企業は、環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである。
腐敗防止	9. 企業は、環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。
	10. 企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

CSRの中期計画を策定

CSRへの取り組みを積極化するために、2013年4月、国連グローバル・コンパクト10原則と社会的責任に関する国際規格ISO26000を踏まえてCSRに関する中期計画(2013～

2015年度)を策定しました。今後、この計画に基づいてCSR活動のPDCAを回し、社会的課題の解決に貢献していきます。

シスメックスCSR中期計画(2013～2015年度)

区分	CSR中期目標	課題
組織統治	コンプライアンス体制の強化	・グループ遵法体制の見直し
	事業継続計画の拡充	・事業継続計画の継続的な見直し
人権・労働慣行	ダイバーシティーの推進	・女性活用の推進 ・働きやすい職場環境の向上
環境	長期環境目標(エコビジョン2020)の達成に向けた活動の推進	・環境に配慮した製品・サービスの提供 ・事業活動における環境負荷の低減
公正な事業慣行	公正な取引の推進	・公正取引に関わるグループの遵法体制の見直し
	CSR調達の推進	・CSRを勘案した調達方針の策定と周知
消費者課題	情報セキュリティの強化	・情報セキュリティ体制の拡充
	顧客満足の向上	・お客様の声(VOC)にもとづくものづくりやサービス体制の充実
コミュニティへの参画・発展	社会貢献活動の推進	・社会貢献方針にもとづく施策の展開

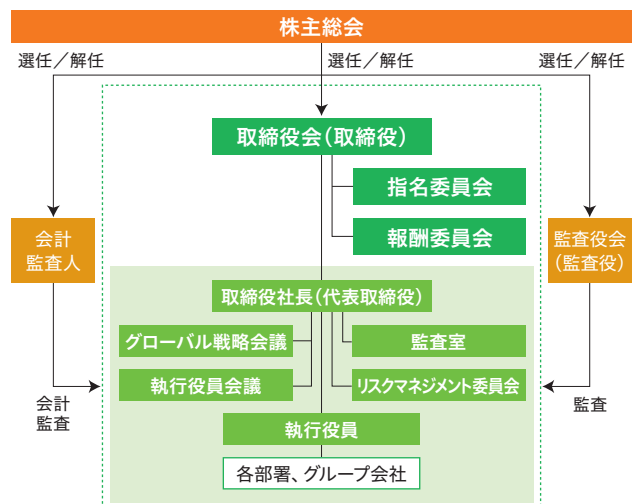
コーポレート・ガバナンス

経営の健全性と透明性を高め、経営効率を向上

シスメックスは、コーポレート・ガバナンスの強化を重要な経営課題の一つとして位置づけています。経営の健全性と透明性を高め、経営スピードと経営効率を向上させることが、グループ全体の企業価値の最大化につながると考えています。

取締役会は取締役7名で構成し、うち社外取締役は1名で、経営に関する重要事項を審議しています。当社は監査役制度を採用しており、社外監査役2名を含む4名で構成する監査役会が、独立した立場から客観的に取締役の職務遂行を監視しています。また、業務執行の意思決定スピードをいっそう高め、事業環境の変化に迅速に対応できるよう、2005年4月から執行役員制度を導入しています。社長の意思決定のための諮問機関として執行役員会議を設置し、グループの業務全般の重要事項を審議しています。執行役員は17名で、うち取締役兼任が5名です。また、委員会設置会社と同様の役割を持つ指名委員会と報酬委員会も設置しています。

コーポレート・ガバナンス体制



内部統制

内部統制システムの運用

シスメックスでは、2006年度に内部統制システムに関する取締役会決議に基づき、コンプライアンス、情報の保存・管理、リスク管理、効率的な職務執行、グループ会社管理、監査について体制を整備し、推進しています。

また、2008年度に「財務報告に係る内部統制管理規程」を制定するとともに、社長の諮問機関として「財務報告に係る内部統制委員会」を設置し、グループ全体の内部統制システムを構築し、適正な運用に取り組んでいます。

コンプライアンス

「正々堂々とした事業活動」を追求

シスメックスは、コンプライアンスを「法令遵守とともに高い倫理観にもとづいた正々堂々とした事業活動を行うこと」であると定義しています。

この定義に基づいて、役員と従業員が遵守すべき特に重要なルールや行動のガイドラインをまとめた「コンプライアンスコード」を制定し、教育を行い、浸透を図っています。同コードはグループ会社にも適用し、遵守する体制を整えています。

コンプライアンス教育を継続して実施

グループ各社にコンプライアンス責任者を設置し、コンプライアンス教育を実施しています。

国内グループ会社では、入社した従業員に「コンプライアンスハンドブック」を配付し、全従業員への周知・浸透を図っています。

また、定期的なコンプライアンス教育に加え、毎年重点テーマを設定し、各テーマに関連する部門に対して教育を実施しています。2012年度は、「医療業界の動向に合わせた社内規程の改定教育」、「パワーハラスメント教育」などを重点テーマとして取り組みました。

一方、海外グループ会社については、各国の状況に合わせてコンプライアンス教育を実施しています。



コンプライアンスハンドブック

コンプライアンスコード※

1. お客様への安全と安心の提供

私たちは、全ての企業活動において、お客様への安全と安心の提供を優先して行動します。

2. 公正な取引と自由な競争の推進

私たちは、お客様をはじめとした全ての取引先と公平かつ公正に接し、適切な条件で取引を行います。また、同業他社との関係においては、相互間での不当な取引制限や相手を貶める不正な行為を行いません。

3. 公平・適正な情報開示と情報管理の徹底

私たちは、グループの経営状況や事業活動などの企業情報を、関連する法令等に従い、公平、迅速、正確に、かつわかりやすく開示するとともに、事業活動を通じて収集された営業秘密は、第三者に不利益を与えることのないように厳重に管理します。

4. 知的財産権の尊重

私たちは、第三者の知的財産権を尊重し、不正な方法で第三者の成果や営業秘密を入手したり、自らの業務に利用しません。

5. 国際的な平和と安全の維持

私たちは、輸出関連法令等を遵守し、国際的な平和と安全の維持を阻害する恐れのある取引には関与しません。

6. 適正な会計処理と納税の実施

私たちは、租税に関連する法令その他経理関連法令等を遵守し、常に適切な税務処理と適正な会計処理を行います。

7. 人権の尊重と安全・衛生の向上

私たちは、一人ひとりの基本的人権を尊重し、差別や嫌がらせ等の行為を行いません。また、職場の安全・衛生に努めるとともに、不当な労働を強制しません。

8. 公私のけじめと利益相反行為の禁止

私たちは、職務遂行において自己の利益を図ることはもちろん、グループの資産や物品ならびに情報などの不正利用や、グループの事業活動に不利益を及ぼす個人的な行為を行いません。

9. 社会との健全な関係の保持

私たちは、公的機関との取引ならびに政治献金を行う際は、関連する法令等を遵守し、常に厳正に対応します。また、反社会的な活動や勢力に対しては毅然とした態度で臨み、一切関係を持ちません。

10. 地球環境の保護

私たちは、環境関連法令等を遵守するとともに、環境に関する国際基準等にもとづき、事業活動全般において環境に配慮した取り組みを行い、地球環境の保護と向上に努めます。

2009年11月改定

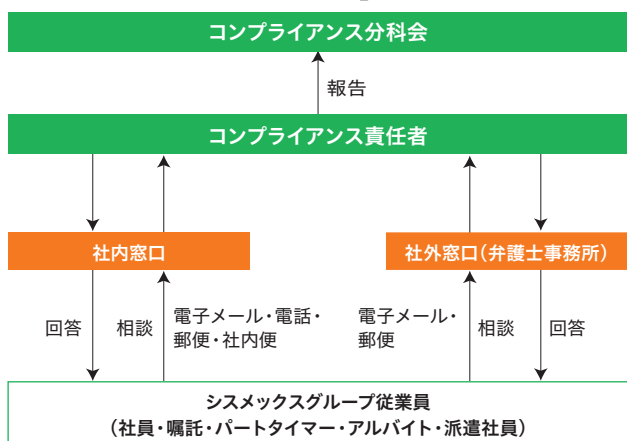
※ シスメックス(株)のコンプライアンスコードを掲載。海外グループ会社のコンプライアンスコードは、各地域の慣習の違いなどによって一部追加しています。

内部通報制度

国内グループ向けの内部通報制度「カンパニユライン」では、社内・社外の2つの窓口で、電話、郵便、電子メールによる相談や通報を受け付けています。

寄せられた情報は匿名で取り扱い、相談・通報者が不利益を受けないよう保護しています。また、海外グループ会社でも内部通報制度を整備しています。

内部通報制度「カンパニユライン」



リスクマネジメント

委員会を設置してリスクマネジメントを推進

グループ全体のリスクマネジメント活動を統括する組織として、最高責任者「リスクマネジメントオフィサー」を委員長とする「リスクマネジメント委員会」を設置しています。同委員会において、各部門や関係会社が実施したリスク低減対策やモニタリング結果などを継続して確認しています。

このほか、災害対応の体制づくりにも取り組んでいます。2012年度は、全社の緊急連絡体制について規定した「自社被災対応基準」と、有事の際に従業員が取るべき行動を示した事業所ごとの「防災マニュアル」を新たに策定しました。また、緊急連絡手段として「安否確認ツール」を導入し、定着を図るために全社的な訓練を2回実施しています。

拠点ごとの備えを充実させるべく、事業所間の連絡手段としてデジタル無線の設置や、各拠点で防災グッズなどを配備しました。けがや障がいのためひとりで歩行が困難な従業員用の避難器具も導入しています。

さらに、災害時にとるべき行動に従業員に浸透させるために、これらの施策の意義や方向性についての説明会や、自衛消防隊を活用した防災訓練を実施しました。

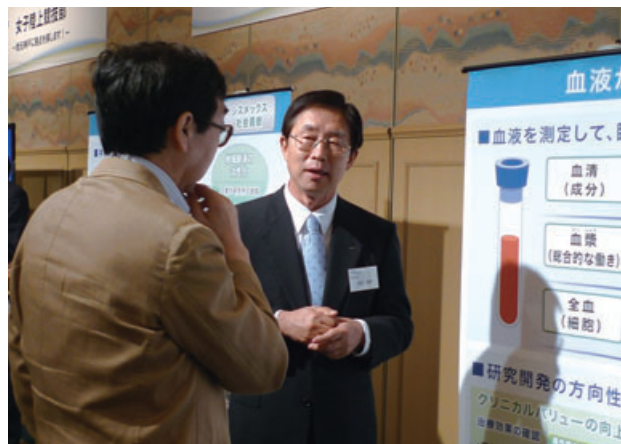
情報開示

株主総会・株主懇談会の開催

株主の皆様との直接対話の機会を大切にし、できるだけ多くの方々に総会に参加していただけるよう努めています。

総会後は株主懇談会を開催し、株主の皆様との対話を深めています。2012年度は当社の研究開発内容、地元神戸やヘルスケア領域での課題解決に向けた社会貢献の取り組み、これらを含めた当社の活動に対する社外からの評価についてパネルや映像などを用いてご説明した後、ご意見・ご質問にお答えしました。

一方、総会に参加することが難しい株主の皆様に対しては、郵送やインターネットで議決権を行使できるようにしています。このほか、総会の招集通知と決議通知の読みやすさにも配慮しています。いずれも海外の方のために英文版を作成しているほか、招集通知をカラー印刷し、Webでも閲覧できるようにしています。2012年度は、グラフや地図を用いるなど、招集通知のさらなるビジュアル化を進めました。



株主総会後に開催する懇談会

さらなる情報開示の充実を目指して

シスメックスでは証券取引に関する法令や証券取引所の定める適時開示規則などを遵守することはもとより、当社独自の基準を設け、投資判断に影響を与えると判断した情報を積極的に開示するよう努めています。

年2回の決算説明会（期末・第2四半期決算時）に加え、2011年3月期の第3四半期より、さらなる情報開示の充実を目指し、第1、第3四半期決算発表時に、カンファレンスコールを開催しています。

個人投資家向け情報提供の優良企業に選定

シスメックス(株)は、2012年度、「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」※の「個人投資家向け情報提供における優良企業」に選定されました。

個人投資家向け会社説明会に代表取締役会長兼社長が参加し、その動画をWebサイトで配信している点、また、Webページ「株主・投資家の皆様へ」の見やすい画面構成、株主通信の内容が充実していることが高く評価されました。

※ 公益社団法人日本証券アナリスト協会ディスクロージャー研究会が1995年から実施している制度。企業による情報開示の質、量、タイミングなどを客観的に評価し、優秀な企業を選定するもの。



授賞式の様子

外部からの評価

持続可能性への評価

持続可能な社会の実現に向け、経済的観点だけでなく、環境や社会的公正性といった観点から一定以上のパフォーマンスを示している企業を評価・選別する社会的責任投資(SRI: Socially Responsible Investment)が注目されています。

シスメックス(株)は2012年度、代表的なSRIインデックス(指標)の一つである「Dow Jones Sustainability Indexes※1」のアジア・太平洋版である「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」の構成銘柄に組み入れられました。また、2008年度から継続して「FTSE4Good Index※2」の構成銘柄に採用されています。これに加えて、ベルギーのSRI評価団体フォーラム・エティベルによる「Ethibel Excellence※3」にも2年連続で選定されています。

※1 Dow Jones Sustainability Indexes: 米国のS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス(S&P Dow Jones Indices)社と、スイスのSRIに関する調査専門会社であるロベコSAM(Robeco SAM)社が共同開発したSRIインデックス。

※2 FTSE4Good Index: 英国フィナンシャル・タイムズ紙とロンドン証券取引所の共同出資会社、英国FTSE社が開発・管理しているSRIインデックス。

※3 Ethibel Excellence: 人権尊重や環境配慮といったCSR上の課題において、一定以上のパフォーマンスを示している企業を選出した株式銘柄群。



ステークホルダーとの対話

さまざまなステークホルダーとの直接対話を推進

シスメックスは、ステークホルダーの皆様と直接対話する機会を大切にし、いただいたご意見・ご要望を事業活動に活かしています。

2012年度の主な対話実績

お客様

- ・各地域で顧客満足度調査を実施(シスメックス(株)と海外各地域のグループ会社)
- ・学術セミナーを各地域で開催(シスメックス(株)と海外各地域のグループ会社)
- ・お客様のフィードバックを取り入れたカスタマーレーニングプログラムを各地域で継続的に実施(シスメックス(株)と海外各地域のグループ会社)

従業員

- ・全社員を対象とした自己申告制度により、海外勤務の希望の有無や職種の変更を含むキャリア設計に関する希望を調査し、人事ローテーションを行うための情報として活用(シスメックス(株))
- ・労働組合と「人材育成・能力開発の促進」などの3つのテーマについて意見交換を行う団体交渉や、労働環境改善などについて議論する労使協議会を開催(シスメックス(株))

取引先

- ・製品の品質向上に向けた取り組みなどを紹介し、調達先にご協力をお願いする「品質方針説明会」を開催し、74社158名が参加(シスメックス(株))

株主・投資家

- ・国内外の機関投資家・アナリスト向けの個別インタビューを計300社以上に対し実施(シスメックス(株))
- ・神戸ポートピアホールにおいて、個人投資家向けの会社説明会を開催、500名以上の方が参加(シスメックス(株))

地域住民

- ・研究開発拠点「テクノパーク」で地域交流イベントを開催(シスメックス(株))
- ・高校生向け理数系教育イベント「第5回サイエンスフェアin兵庫」に参加(シスメックス(株))
- ・NPOの活動の一つである「Aim High Urban Mentoring Initiative」に参加し、地元高校生を支援(シスメックス・アメリカ)

多様な人材が生き活きと働ける環境を提供

シスメックスは、コンプライアンスコードにおいて差別の禁止と不当労働の排除を定め、その遵守徹底を図るとともに、公平な雇用・処遇に努めています。また、多様な人材一人ひとりが自らの能力を伸ばしながら生き活きと働ける制度や職場環境の提供に注力しています。

人権・多様性の尊重

コンプライアンスコード(抜粋)

7. 人権の尊重と安全・衛生の向上

私たちは、一人ひとりの基本的人権を尊重し、差別や嫌がらせ等の行為を行いません。また、職場の安全・衛生に努めるとともに、不当な労働を強制しません。

7-1 差別および嫌がらせ等の禁止

性別、年齢、国籍、人種、民族、信条、宗教、社会的身分、門地、疾病、障害などに関する差別的言動、ならびにセクシャルハラスメント、パワーハラスメントなどの人格を無視する行為を行ってはならない。

7-2 プライバシーの尊重

個人の多様な価値観を認めあうとともに、一人ひとりのプライバシーを尊重し、知り得た個人情報のみだりに話したり、不必要に知ろうとしてはならない。

7-3 強制労働・児童労働の排除

強制や意思に反しての不当な労働を強制してはならない。また、各国・地域の法令等に定める雇用最低年齢に満たない児童を就業させてはならない。

7-4 職場の安全・衛生の確保

誰もが安心して働けるよう、安全・衛生関連法令等を遵守するとともに、心身の健康の維持向上に取り組み、安全で快適な職場づくりに努めなければならない。

差別や不当労働を排除するために

シスメックスは、コンプライアンスコードの「7.人権の尊重と安全・衛生の向上」において、基本的人権を尊重する上で遵守すべき特に重要なルールや行動のガイドラインを定めています。

このコードでは、あらゆる差別的取り扱いを行わないこと、セクシャルハラスメントやパワーハラスメントなどの人格を無視した行為をしないこと、児童労働・強制労働などを排除すること、安全で快適な職場環境を確保することを明示しています。また、これらを実践するため、随時研修などを実施しています。2012年度は、係長以上の管理職全員を対象にパワーハラスメントに関する研修を実施しました。

パワーハラスメント研修実績

実施時期	対象	参加人数
6月、7月	本部長・部長 (国内関係会社への出向者含む)	106名
10月～12月	課長・係長 (国内関係会社への出向者含む)	538名

人権に関する相談・通報制度

国内グループ会社向けに内部通報制度「カンパニユライン」を設置し、セクシャルハラスメントやパワーハラスメントに関する相談をはじめとする人権相談を受け付けています。また、海外グループ会社でも内部通報制度を整備しています。

障がい者雇用を推進

シスメックス(株)は、障がい者の方の雇用を進めています。それぞれの適性や能力を活かして、長期的に活躍できる雇用形態で就業いただいています。

2013年3月現在の障がい者雇用率は、法定雇用率1.8%を超える2.08%となり、目標である2.0%を達成しました。引き続き、取り組みを強化していきます。

高齢者雇用——定年退職者再雇用制度

シスメックス(株)では定年を60歳とし、高齢者雇用を推進するための制度として65歳までの定年退職者再雇用制度を運用しています。

2012年度は、定年退職者のうち社内ルールに基づき、8名を再雇用しました。

OHSAS18001※の認証取得

シスメックス・ブラジルは、労働安全衛生マネジメントシステムの国際的な規格であるOHSAS18001の認証を取得しています。

※ OHSAS18001:1996年にイギリス規格協会(BSI)が発行した規格BS8800をもとに、約30の各国審査登録機関、標準団体などが集まって1999年に発行された規格。

評価・処遇

能力・成果に基づく公平な人事評価

シスメックス(株)は自主性とチャレンジ精神を尊重し、自己実現と成長の機会を提供するとともに、公正な処遇に努めています。

公正な処遇のベースとなる評価については、「企業価値向上に貢献する能力および成果の発揮に対して報いる」という考え方に基づき、成果のみの評価ではなく、成果発揮にいたるプロセスの評価(コンピテンシー評価)も行っています。また、公平かつ納得性のある人事評価を目指し、評価結果、上司コメントを各個人に開示しています。

人材マネジメントシステムの考え方

1. 長期的な雇用を実現するために

- ・多様な人材が安心して能力を発揮できる複線型の資格等級フレームを整備し、自己実現と成長の機会を提供

2. 多様な人材の能力開発・育成を推進するために

- ・コンピテンシーを基軸とする資格等級基準を設定し、昇格基準の明確化による人材育成と昇格運用の適正化を促進
- ・成果のみではなく、成果発揮に至るプロセス(発揮能力)を評価し、人材育成と企業風土の変革を促進

3. 企業価値向上に貢献する能力

および成果の発揮に対して報いるために

- ・評価と報酬の関係をシンプルにし、誰にでも分かりやすい制度
- ・仕事の貢献度・役割・発揮能力(コンピテンシー)および成果に連動したメリハリのある報酬体系

社員の将来のキャリア設計をサポート

シスメックス(株)では、将来のキャリア設計について全社員を対象とした「自己申告制度」を運用し約95%が申告しています。

これによって、一人ひとりに自己のキャリアの方向性とライフプランについて考える機会を持ってもらうとともに、申告内容を能力開発や人材配置に活用しています。2012年度には、中長期のキャリアを検討できるような設問を追加したり、海外勤務希望関連の設問を具体化するなど、従来よりも一層きめ細かく希望を収集できるように申告シートを改善しました。

就職機会の均等化を目指して

シスメックス(株)では、性別・国籍・人種・年齢・職歴・障がいの有無を問わず、人物本位で採用を実施しています。

具体的には、就職が不利な状況に置かれている既卒学生や海外留学生などに対する就職機会の均等を図るために、いつでも応募できる通年採用を実施し、2012年度は新卒者50名、

ポテンシャル人材6名を採用しました。また、世界中のどこからでも応募できるように海外や国内の地方に在住する応募者のためにインターネットを通じたWeb説明会やWeb面接を実施し、2012年度は外国人9名を迎え入れました。

契約社員・派遣社員の正社員登用

シスメックス(株)は、契約社員や派遣社員の正社員登用にも積極的に取り組んでいます。契約期限が限られている有期雇用者に対して、公平に登用機会を提供することを社内規程において明文化するとともに、イントラネットなどで周知徹底を図っています。また、派遣社員に対しては、個別契約を更新する際、一定の条件を満たしている対象者に直接雇用への切り替えを検討してもらうよう派遣会社へ案内しています。

これらの取り組みを継続的に実施してきた結果、2012年度には、契約社員・派遣社員あわせて17名を正社員として登用しました。

正社員への登用実績

	2011年度	2012年度	2013年度※
契約社員	13名	10名	11名
派遣社員	10名	7名	1名
計	23名	17名	12名

※ 2013年4月1日現在

仕事と家庭の両立支援

子どもの育児・看護を支援

シスメックス(株)は、親子ができるだけ長く一緒に過ごせるよう、休暇・勤務時間短縮制度をはじめとして、育児のための多様な制度を制定しています。職種別のフレックスタイム制度を利用できるほか、子どもの看護のために会社を休む際、積立有給休暇を利用できる制度も導入しています。

さらに、育児を理由にキャリアを中断した社員に再び働く機会を与える再雇用制度も設けています。

2012年度は、育児・介護休業者の復職を支援するためのしくみを新たに設けました。(詳細は、18ページコラムを参照ください。)これらの支援制度は、イントラネット上の専用サイトでわかりやすく解説しています。

こうした取り組みの結果、育児休業からの復帰率は、2012年度実績で100%となっています。

仕事と家庭の両立支援制度の利用状況(2012年度)

制度	概要	人数
育児のための勤務時間短縮制度	子どもが小学校3年生を終えるまで利用可能。	利用者42名
休業制度(育休・産休)	育児休業は法定の1歳を超えて2歳まで取得可能。	利用者60名
積立有休制度	家族の看護や介護のために、失効した年次有給休暇を最大10日まで積み立て、利用できる制度。	利用者33名
再雇用制度	育児や介護のために退職した社員を再雇用する制度。	利用者1名
社内託児所	育児を0歳児から小学校就学前までの乳幼児を預けられる託児所。常時保育だけでなく、一時的な利用も可能。	利用児童40名

社内託児所を設置

シスメックス(株)は研究開発拠点「テクノパーク」内に、従業員から乳幼児を預かる社内託児所「シスメックスキッズパーク」を設置しています。



社内託児所
「シスメックスキッズパーク」

常時保育だけでなく、配偶者が非常勤で働いている場合や、保護者の疾病、弔事などにより家族での保育が困難なときなどの一時的な利用もできます。

働きやすい職場に向けて制度を充実

シスメックス(株)では、育児以外にも、あらゆる観点から、従業員のワークライフバランスを実現する制度を整備しています。

親や家族の病院受診や入院付添いのために、積立有給休暇を利用することができます。また、介護でキャリアを中断する従業員に対しては、再雇用制度を適用しています。

このほか、従業員の多様なニーズに応じた福利厚生を選択できるように、カフェテリアプランを導入しています。また、心身のリフレッシュにつながる有給休暇の取得も奨励しています。

2012年度は、休暇取得の促進策として、休暇申請書上に具体的な申請事例を明記するとともに、休暇制度に関する情報(ガイド)をイントラネット上に掲載し、従業員に周知しました。

次世代認定マークを取得

従業員が仕事と家庭を両立できるよう支援する制度を計画的に整備してきたことが認められ、シスメックス(株)は2011年度に厚生労働省から次世代認定マーク(愛称「くるみん」)を取得しました。



次世代認定マーク「くるみん」

新たな支援制度を導入

シスメックス(株)では、2013年2月から育児・介護休業者がスムーズに職場に復帰できるよう、新たな支援制度を導入しました。社内メールやイントラネットに接続できるタブレット端

従業員の声

復帰支援制度のおかげで安心して職場に戻れました。

シスメックス(株) 品質システム部
松崎 梨乃



1年半の育児休業から職場復帰する際に復帰支援制度を利用しました。長く休んでいたため、復帰には不安もありましたが、支援制度で配付されたパソコンを使って社内の情報を把握することができ、また、メールで職場の皆とコミュニケーションもとれたので、安心して職場に戻ることができました。

末もしくはノートパソコンを貸与することで、休業者が復帰予定の3カ月前から自宅で社内情報を閲覧できるようにしています。

休業中、職場と疎遠になることは、復帰後の円滑な職務の妨げにもなります。このしくみを利用すれば、休業者は家庭にいながら社内情報をリアルタイムに入手できるうえ、メールのやりとりを通じて職場とのコミュニケーションの強化が図れます。疎外感や孤独感にさいなまれることなく休業中を過ごし、活き活きと元の職場に復帰できるよう配慮した、IT活用型の支援制度です。



労使協調

協力して働きやすい職場づくりを推進

シスメックス(株)の労働組合であるシスメックスユニオンには、正社員のうち、役職者や管理部門の一部を除く全員が加入しています。当社とシスメックスユニオンは協力してワークライフバランスを確保するための制度整備などに取り組んでいます。

2012年度は5月に団体交渉を実施し、「人材育成・能力開発の促進」「ダイバーシティの推進」「健康増進に対する意識の醸成」の3つのテーマについて意見交換を行いました。このほかにも労使協議会を4回開催し、労働時間管理や労働環境改善などについて議論しました。

従業員の声を経営に反映

シスメックスでは、2年に1回、国内グループ会社の社員を対象とした「企業風土調査」を実施しています。全100項目以上の質問に対する回答を分析し、組織内にある暗黙のルールや価値観、また各種施策の効果のほどを把握することで、当社グループが抱える課題の抽出と解決に役立てています。

このほか、グループ会社のシスメックス国際試薬でも「従業員提案制度」を導入するなど、従業員の声を経営に反映しやすい体制をグループ各社で整備しています。

健康と安全への配慮

心身の健康の維持・向上

シスメックス(株)では、定期健康診断に加え、人間ドックや女性がん検診などを実施し、疾病の早期発見に努めています。健康相談は全社的な窓口を設け、産業医、保健師と面談できる体制を整えています。また、メンタルヘルスは、専門の産業医による専門窓口や外部相談機関(EAP)を設置し、従業員が気軽に相談できる体制を整えています。

従業員の疾病予防にも取り組んでおり、本社地区では社内において特定保険指導を実施し、健康増進を図るとともに従業員の意識を高めています。

この一方で、休業後の復帰支援も重要と考えています。例えば、長期の休業から復帰する社員が、段階的にステップを踏みながら業務に戻る「ならし入社」を制度化して運用しています。

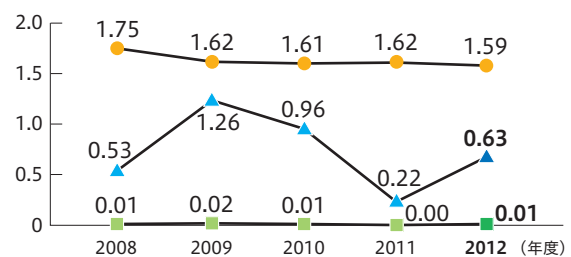
安心して働ける職場づくり

シスメックス(株)は、従業員の安全衛生を確保するための指針として「安全衛生規程」を定めるとともに、事業所ごとに

安全衛生委員会を設置し、安心して働ける職場づくりに努めています。事故時の応急措置や退避方法、危険性のある機械や原材料の取り扱い方、AED(自動体外式除細動器)の取り扱い方などについて教育を実施しているほか、市民救命士の育成にも取り組んでいます。

また、地震や火災などに備えて、地元の消防署と連携しながら避難訓練や消火訓練、通報訓練を実施しています。例えば、テクノパークでは、大規模災害などの緊急事態を想定した訓練を2012年度に実施しました。

労働災害度数率/強度率(シスメックス(株))



● 日本の全産業平均度数率
▲ シスメックス(株)の度数率 ■ シスメックス(株)の強度率

注) 労働災害度数率: のべ労働100万時間あたりの死傷者数の割合。
労働災害強度率: のべ労働1,000時間あたりの労働損失日数の割合。

人材育成

グローバルな人材の育成に注力

シスメックスでは、従業員の能力開発や人が育つ環境づくりを目的として、全社員の継続的、計画的な能力・スキルの引き上げ、マネジメント力の強化およびグローバルなビジネスの中核を担うグローバル人材の育成に注力しています。

若手社員層を対象として、海外現地法人へ派遣し実務経験を積ませる「グローバルアプレントイスプログラム」を2011年度から導入しています。このプログラムは、グローバル



グローバルアプレントイスプログラムでシスメックス・アジア・パシフィックに派遣されたHU事業統括室 竹内 ちあきさん

なキャリアを志望する社員を社内公募し、早期に海外業務経験の機会を提供することにより、将来のグローバル人材へと育成することを目的としたものです。2012年度末までに、計7名がプログラムを利用し、海外に派遣されました。

さらに、2012年度には、日本と海外グループの従業員同士の交流を促し、互いに理解を深めることで関係強化を図る「グローバル人材交流プログラム」を新たに導入しました。（詳細は、下記コラムを参照ください。）



「グローバル人材交流プログラム」で各国の従業員に交流の機会を提供

充実した研修プログラムの導入

シスメックス・アメリカでは、2005年から外部機関と共同で従業員の教育研修を実施しています。シスメックスの事業活動に関わりの深い40テーマの研修プログラムを提供しており、その実践的内容から、研修を受けた従業員の満足度は90%に達しています。

また、集合研修以外にも、約180種類のe-ラーニングを用意しています。このほか、従業員が外部機関を利用して自主的に学ぶことを支援する奨励金制度も導入し、最高5,250ドルまで費用を補助しています。

さらに、財務、マネジメントなどの基礎的なスキルを学んだ上で、3カ月以上に渡って社内の課題や強みを分析し、提言する「ミニMBAプログラム」を実施し、ビジネスリーダーの養成を進めています。



ミニMBAプログラムの修了者

グローバル人材交流プログラム

2012年度から「グローバル人材交流プログラム」を開始し、11月にアメリカ、カナダ、ブラジルの各グループ会社の従業員8名が約2週間かけて日本の各事業所を訪問し、従業員との交流を図りました。



グローバル人材交流（お茶会体験）

グローバル人材交流（事業所見学）



オープンな社風づくり

シスメックス・ヨーロッパでは、マーケティングミーティング、機能ミーティング、部門ミーティングなど、コミュニケーションの機会を多数設けています。各シーズンに行われる全従業員参加のイベントやクリスマスパーティなども、社内コミュニケーションを促す良い機会となっています。

さらに、「オープンドアポリシー」を採用し、従業員がマネージャーと直接対話することを推奨しています。



従業員参加のイベント

従業員満足度調査で高評価

シスメックス・ヨーロッパは、2012年度、ドイツの調査機関が実施する400社以上を対象とした従業員満足度調査に初参加しました。その結果、90%以上の従業員が非常に働きやすい会社と感じているとの調査結果が得られ、「Germany's Best Employers 2012」の1社に選ばれました。



「Germany's Best Employers 2012」の1社に選ばれたシスメックス・ヨーロッパの従業員

長期環境目標達成に向けて、環境活動を推進

シスメックスは、「シスメックスグループ環境行動計画(シスメックス・エコビジョン2020)」において製品・サービス等の環境配慮、事業所の環境配慮に関する長期環境目標を設定しています。また、2013年度から2015年度までの中期環境目標を新たに策定し、その達成に向けて取り組んでいます。

環境マネジメント

環境方針

私たちは、ヘルスケア分野にかかわる企業として、地球環境保全活動を通じて、豊かな健康社会づくりに貢献します。

行動基準

1. 環境保全を重視した事業活動を行い、社会の全ての皆様に安心をお届けします。
2. 製品のライフサイクルの各段階において、環境への影響を考慮し、環境に配慮した製品・サービスの提供に努めます。
3. すべての事業活動において、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、リサイクルを推進し、化学物質の適正管理に努めます。
4. あらゆる国または地域の適用される環境に関する法令、規制、協定などを遵守します。
5. 環境保全活動の継続的な改善を行い、汚染を予防し、私たちの製品が環境に与える影響を最小限にするように努めます。
6. 環境教育・啓発を通じて環境意識の向上を図るとともに、地域・社会の一員として環境保全活動を通じた社会貢献に取り組みます。
7. 環境方針から環境目的・目標を設定し、計画的に目標達成に取り組めます。

2009年5月改定

環境活動の推進

シスメックス(株)およびシスメックス国際試薬では、シスメックス(株)の専務執行役員を最高責任者とする「環境管理委員会」において、方針・計画の策定、計画の進捗管理、実績の評価などを実施しています。

シスメックスは、2012年度、「シスメックスグループ環境行動計画(シスメックス・エコビジョン2020)」について、基本的な課題を踏襲した上で、「製品・サービス等の環境配慮」と「事業所活動の環境配慮」に集約して再整理しました。また、2013年度から2015年度までの中期環境目標を策定し、中間点での到達度がわかるようにしました。

また、国内外の主要なグループ会社に環境に関する責任者を設定し、グループ全体の環境活動やパフォーマンスデータを把握できる体制を構築しています。

ISO14001の認証を取得

シスメックスでは、グループ全体で環境マネジメントの国際規格「ISO14001」の取得を進めています。2012年4月に、シスメックス・アジア・パシフィックが認証を取得し、工場について国内はすべて、海外は7拠点のうち5拠点、累計で17拠点で取得を完了しました。さらに、シスメックス・無錫、済南シスメックスが、認証取得を目指して取り組んでいます。



ISO14001 認証書
(シスメックス・アジア・パシフィック)

ISO14001 認証取得状況

会社名	事業所	取得時期
シスメックス(株)	加古川工場	2000年4月
	テクノパーク	2002年2月
	本社	2002年2月
	ソリューションセンター	2005年11月
シスメックス国際試薬	小野工場	2001年3月
	西神工場	2007年6月
シスメックスメディカ	—	2001年3月
シスメックスRA	—	2008年6月
シスメックス・ヨーロッパ	ノイミュンスター工場	1999年11月
	本社	2011年10月
シスメックス・ドイツ	—	2011年10月
シスメックス・ブラジル	—	2006年5月
シスメックス・アメリカ	—	2009年12月
シスメックス・リージェンツ・アメリカ	—	2009年12月
シスメックス・ニュージーランド	—	2011年5月
シスメックス・インド	—	2012年3月
シスメックス・アジア・パシフィック	—	2012年4月

環境監査の実施

2012年度、シスメックス(株)およびシスメックス国際試薬では、法規制の「順守評価」に加え、「内部環境監査」、さらには外部審査機関による「外部環境監査」を実施しました。

内部環境監査では5件、外部環境監査では2件の不適合が見つかりましたが、それぞれ是正対応を完了しています。

シスメックスグループ環境行動計画(シスメックス・エコビジョン2020) / 中期環境目標

	シスメックス・エコビジョン2020の 長期環境目標(改訂版)	中期環境目標 (2013~2015年度)	2012年度の活動・実績
製品・サービス 等の環境配慮	環境に配慮した製品・ サービスの提供	環境に配慮した製品・ サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・RoHS指令適合に向けた活動の推進 ・消費電力削減に向けた製品開発の推進 ・試薬に使用する主要原料について、動物由来原料から人工的に作成したタンパク質への切り替えを推進 ・製品の容器包装・梱包材の使用量削減の推進 ・サービスの効率化によるCO₂削減に向けた、アジア地域のリモートサービスの拡大推進
	国内・域間物流の CO ₂ 排出量50%削減 (トンキロ原単位) ^{※1} 基準年度 2010年	国内・域間物流の CO ₂ 排出量30%削減 (トンキロ原単位) ^{※1} 基準年度 2010年	<ul style="list-style-type: none"> ・インドネシアなどへの輸出について、航空便から海上輸送への切り替え推進
事業所の 環境配慮	事業所における温室効果ガス 排出量50%削減 (連結売上高原単位) ^{※2} 基準年度 2008年	事業所における温室効果ガス 排出量25%削減 (連結売上高原単位) ^{※2} 基準年度 2008年	<ul style="list-style-type: none"> ・設備導入による温暖化対策(空調の室温管理徹底、省エネ蛍光灯・LED照明の導入、トイレへの人感センサー設置など)(各事業所) ・製造ラインの自動化による工数削減(シスメックス国際試薬) ・再生可能エネルギーを扱う電力会社から購入(シスメックス・ヨーロッパ) ・太陽光発電の利用によるCO₂排出量削減(シスメックス・ヨーロッパノイミュンスター工場)
	事業所のリサイクル率 93%以上の達成 ^{※3}	事業所のリサイクル率 90%以上の達成 ^{※3}	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理業者の見直しを実施(ソリューションセンター) ・蛍光灯などの再資源化処理委託を開始(ソリューションセンター)
	試薬工場の水使用量10%削減 (生産量原単位) ^{※4} 基準年度 2008年	試薬工場の水使用量3%削減 (生産量原単位) ^{※4} 基準年度 2008年	<ul style="list-style-type: none"> ・新純水装置の導入(済南シスメックス) ・浄化処理後の工場排水の再利用(シスメックス・インドディア)

※1 シスメックス(株)

※2 工場および主要事業所

国内・海外グループ12工場(日本5、ドイツ、アメリカ、ブラジル、中国2、インド、シンガポール)

国内・海外主要事業所7拠点(日本4、ドイツ、アメリカ、中国、シンガポール)

※3 工場および主要事業所のうち製品・化学物質を取り扱う事業所

国内・海外グループ12工場(日本5、ドイツ、アメリカ、ブラジル、中国2、インド、シンガポール)

国内・海外主要事業所6拠点(日本2、ドイツ、アメリカ、中国、シンガポール)

※4 試薬工場(9拠点)

製品の環境配慮

法規制への対応

2011年7月に改正RoHS指令[※]が発効し、これによって当社の製品では2016年7月から検体検査機器、動物用検体検査機器に同指令が適用されることとなりました。

シスメックスでは、この改正RoHS指令に適合できるよう、欧州へ出荷している製品に対して、設計および製造工程などの見直しを進めています。

[※] RoHS指令：EU(欧州連合)で販売される電気電子機器に含まれる有害化学物質の使用禁止を定めた指令。重金属(鉛、カドミウム、水銀、六価クロム)と、ダイオキシン類の発生原因となる特定臭素系難燃剤(PBB、PBDE)の使用全廃を要求したもの。

省エネ、小型化等の製品の開発

シスメックスでは、お客様先での省エネルギーに貢献するため、検体検査機器の省エネ・小型化に向けた技術開発に取り組んでいます。

また、製品などの輸送時に発生する環境負荷を低減するため、梱包材の重量削減や、梱包方法の効率化などにも取り組んでいます。

環境にも配慮した診断薬原料生産手法を確立

シスメックスでは、診断薬の原料タンパク質に関して、カイコによる生産手法を確立しました。またこの技術を用いて、2012年度から受託生産ビジネスも本格的に開始しており、すでに多くの製薬企業様から注文をいただいています。

従来これらのタンパク質は、哺乳類などの細胞を、環境制御タンク(無菌、温度、酸素濃度等)などの機械設備で生産していたため、多くのエネルギーを消費していました。一方、カイコは一般室内飼育が可能であり、容器内で人工餌を与えるだけでよいため、省エネルギーや廃棄物削減が期待できます。



タンパク質生産に用いられるカイコ



サービスなどの環境配慮

環境に配慮したサービスモデル

シスメックスでは、サービスを効率化することで、環境負荷の低減を図っています。

例えば、カスタマーサポートセンターの充実を図るとともに、SNCS(詳細は32ページを参照ください。)によるお客様との双方向ネットワークをグローバルに構築し、検査装置のダウンタイムの最小化を図っています。

これによってシスメックスの担当者がお客様先を訪問する頻度を減らすことができ、社用車のガソリン使用量やCO₂排出量の抑制につながっています。

物流におけるCO₂排出量削減

物流工程でのCO₂排出量についても、取り組みを進めています。国内輸送においては、輸送ルートの効率化などにより、2012年度のCO₂排出量は前年度比で約9%削減しました。

また、日本から海外各地域への輸送では、インドネシアなどへの輸送手段を航空便から船便に切り替えるなどの取り組みを推進した結果、アジア・パシフィック地域への輸送については、CO₂排出量は前年度比で約29%削減しました。一方、欧州地域では、製品需要が急増して航空輸送が増加したこともあり、海外輸送全体では、CO₂排出量は前年度比で約38%増加しました。

しかし、輸送梱包の効率化などに取り組んだ結果、トンキロ[※]原単位で見ると、国内・域間物流のCO₂排出量は前年度比で約7%削減しています。

[※] トンキロ：貨物輸送量を表す単位のこと。貨物のトン数とその貨物を輸送した距離(km単位)を掛け合わせたもの。例えば、1トンの貨物を1km運んだ場合は「1トンキロ」と表す。

	2011年度	2012年度
国内輸送	1,256 t-CO ₂	1,145 t-CO ₂
海外への輸送	3,279 t-CO ₂	4,528 t-CO ₂

事業所の環境配慮

事業所での温室効果ガス排出量削減

事業所における温室効果ガス排出量を削減するために、各事業所でさまざまな活動を進めています。

工場を含む各事業所では、室温管理の徹底、屋上の断熱・遮熱塗装工事、省エネ蛍光灯・LED照明の導入など、それぞれの事業所の特性にあった省エネ対策を実施しています。

また、シスメックス国際試薬では製造ラインの自動化による工数削減による効率化に取り組んでいます。

製造エリアの拡大などにより、電力使用量が大きく増加した事業所もありましたが、これらの取り組みの効果もあり、2012年度の温室効果ガス排出量(連結売上高原単位)は、前年度比で約0.2%とわずかながら削減することができました。



LED照明(小野工場)

事業所での廃棄物の削減

廃棄物処理業者の見直しを実施するなど、リサイクル率の向上にも継続的に取り組んでいます。

2012年度は、ソリューションセンターで廃棄物処理業者の見直しを実施して、蛍光灯などの再資源化処理を開始するなど、各拠点で取り組みを進めました。

また、シスメックス・無錫では外注包装材料の包装用PE袋を生産・開発の場所で使用したり、生活用ごみ袋として再利用するなど廃棄物の削減にも取り組んでいます。

これらの取り組みにより、グループの2012年度のリサイクル率は、前年度の87.9%から89.5%へ向上しました。

事業所での水使用量削減と適切な排水処理

水の使用効率を高め、水使用量の削減にも取り組んでいます。

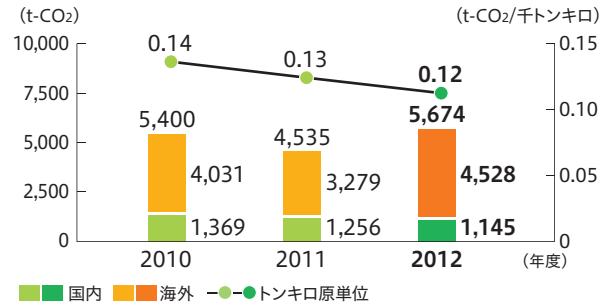
済南シスメックスでは、より効率のいい、新しい純水製造装置を導入しました。また、シスメックス・インドでは、浄化処理後の工場排水をすべて工場内の緑地へ引いて、水やりを利用する取り組みを行っています。

これらの取り組みにより、2012年度の水使用量(生産量原単位)は、前年度比で約3%減少しました。



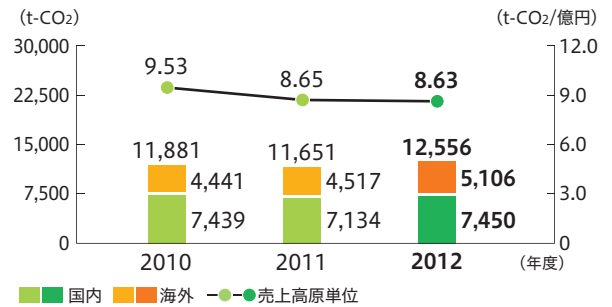
浄化処理後の工場排水を水やり利用(シスメックス・インド)

物流におけるCO₂排出量



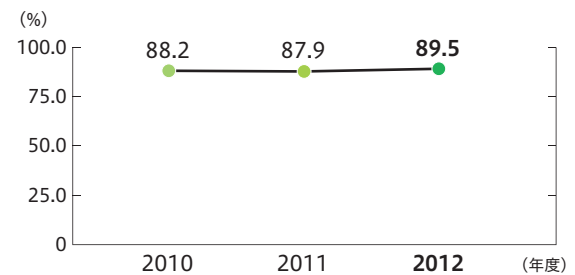
注) 集計範囲は、国内工場から国内顧客および海外各地域の港、空港までのCO₂。

事業所での温室効果ガス排出量



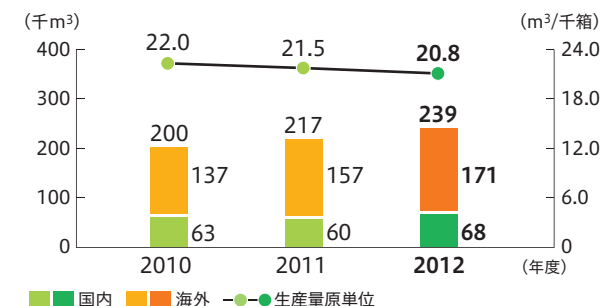
注) 集計範囲については、22ページをご覧ください。

事業所のリサイクル率



注) 集計範囲については、22ページをご覧ください。

試薬工場での水使用量



注) 集計範囲については、22ページをご覧ください。

その他

国内社用車のCO₂排出量削減

約400台ある国内の社用車からのCO₂排出量を削減するために、イントラネットを利用して各車両の走行量、使用ガソリン量を「見える化」し、ドライバーの意識向上を図るなどの取り組みを行っています。このほか、低燃費車やハイブリッドカーの導入を推進しています。

これにより、2012年度の国内社用車からのCO₂排出量は、前年度比で約3%削減しました。

調達先の環境マネジメントシステム構築支援

シスメックスでは、「グリーン調達基準」を制定し、調達先の環境意識の啓発を図っています。また、製品への使用を制限・削減する化学物質をWebサイトで公開し、部品・材料の調達先に協力を要請しています。

2012年度は、調達先302社を対象に、化学物質の管理状況を確認する調査を実施し、重大な問題が発生していないことを確認しました。

製品の容器包装材の削減

機器や試薬、修理用部品などの容器包装の軽量化などに取り組み、使用量削減を図っています。

2012年度は、試薬製品9品目で容器包装の設計を見直し、当該製品での包装材使用量を従来比で約26%削減しました。シスメックス・無錫では、生化学製品の箱の材質を変更し、シュリンク包装を廃止するなど、容器包装材の削減に取り組んでいます。

感染性物質の厳重な管理と適切な処理を徹底

シスメックス国際試薬では製品の原材料として、テクノパークでは研究開発の実験材料として、生物由来の物質を取り扱っています。これらは感染の危険性があるため、万が一に備え、マニュアルに基づいて保管・使用場所を制限するなど厳重に管理するとともに、一般廃棄物とは厳格に分別して適切に処理しています。

タブレット端末の導入による紙使用量の削減

シスメックス(株)では、タブレット端末を導入し、ペーパーレス会議を推進しています。これによって紙の使用量・廃棄量削減、印刷・配布などの事前準備の工数削減に取り組んでいます。

また、事前に資料のデータを出席者に配付できるようになったことで、会議の効率化にもつながっています。

グリーン調達基準

1. 目的

シスメックスグループが、地球環境保全を進めることにより企業の社会的責任を果たすという環境基本方針を基に、環境に配慮した製品づくりを推進するため、地球環境への負荷が少ない原材料・部品の調達を推進し、環境保全活動に積極的なサプライヤーと共に持続可能な社会の発展を目指すことを目的に制定する。

2. グリーン調達の方針

調達活動における、当社製品の環境負荷を低減することはもとより、サプライヤーも含めた生産活動を通じた環境負荷を低減するため『グリーン調達』を実施する。グリーン調達の具体的な取組みとして、以下の2項目を推進する。

- 1) 環境負荷が少ない原材料、部品の調達を推進する。
- 2) 環境保全に積極的なサプライヤーとの取引を拡大する。

3. 適用範囲

シスメックスグループにおける原材料・部品および製品の調達活動に適用する。

4. 製品使用化学物質の管理

シスメックスグループが開発・製造する製品に使用する原材料・部品の選定にあたっては、必要な品質・機能・経済的合理性に加え、環境負荷を低減するため、以下に示す化学物質を使用していない原材料・部品を採用するものとする。

- 1) 製品に使用する化学物質の制限で定めている禁止物質を含有していないこと
- 2) 製品に使用する化学物質の制限で定めている化学物質の含有量が把握されていること
- 3) 使用にあたり、化学物質、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染発生等の環境負荷が低いこと
- 4) 資材に関する環境情報を公開していること
- 5) 梱包材についても、上記内容と同様、化学物質の含有量削減等がなされていること

CO₂排出量削減のために自然エネルギーを積極的に活用

環境意識の高い欧州にあるシスメックスの各グループ会社では、地域の社会ニーズに応え、環境に配慮した取り組みを強化しています。

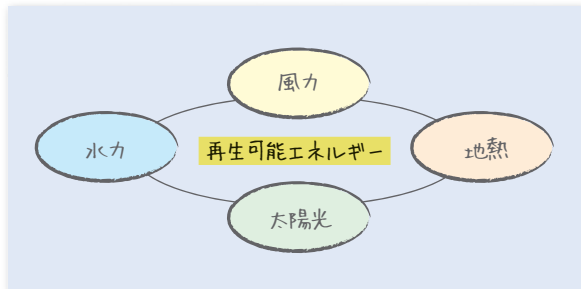
環境負荷低減を目指して

事業活動全般における環境負荷を低減することは、欧州で今日、強く求められる社会ニーズです。欧州にあるシスメックスの各グループ会社では、さまざまな活動を通じてこれに応える努力を続けています。

ドイツにおける取り組み

シスメックス・ヨーロッパでは、水力・風力・地熱・太陽光などを利用した再生可能エネルギーを積極的に導入しています。自社工場に太陽光発電システムを設置するとともに、再生可能エネルギーを扱う電力供給会社と契約を結び、購買電力に占める再生可能エネルギーの比率向上に努めています。

2012年度から、熱回収システムを本格導入し、エネルギーの有効活用に取り組んでいます。また、社用車はエコカーを選定・導入しています。さらに、試薬倉庫をノイミュンスター工場近くに移転した結果、距離が約90km短縮され、移動にともなうCO₂排出量が大幅に削減されました。



フランスにおける取り組み

シスメックス・フランスでは、ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを運用し、環境負荷低減を図っています。廃棄物の削減や分別に取り組むほか、社用車1台につき1年あたりの燃料消費量5%削減やエコドライブ推進に取り組んでいます。

また、薄手の紙への変更や、両面印刷を推進することで、紙使用量の削減に成功しました。















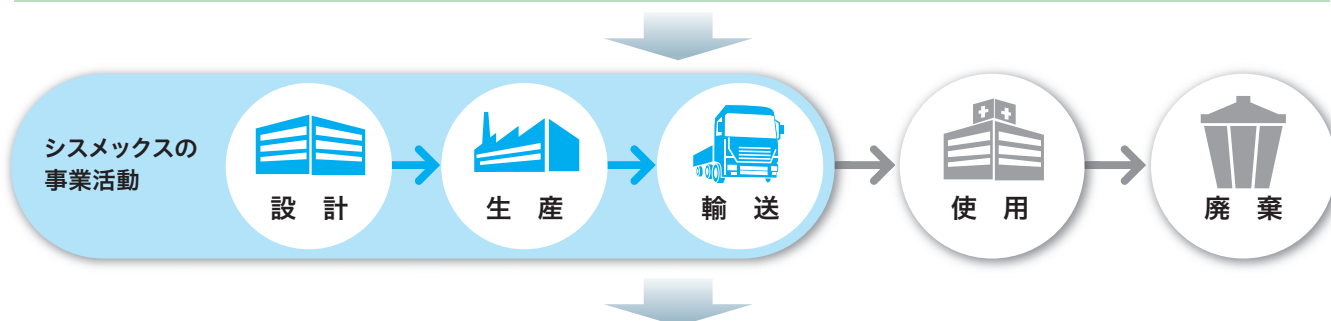
太陽光発電システム(シスメックス・ヨーロッパ ノイミュンスター工場)









天然ガスを使用したエコカー
(シスメックス・ヨーロッパ)

事業活動にともなう環境負荷

INPUT			2011年度	2012年度
①	 電気使用量(千kwh)		26,643	28,154
①	 都市ガス(千m ³)		801	956
①	 LPG(m ³)		8,317	5,337
①	 LNG(m ³)		—	0
①	 重油(kL)		—	0
①	 灯油(kL)		58	62
①	 軽油(kL)		59	19
④	 国内社用車ガソリン(kL)		775	748
④	 国内社用車軽油(kL)		2.6	3.3
③	 水使用量(千m ³)		315	332
⑤	 OA用紙(t)		52	49
④	 PRTR(t)		9.1	7.2



OUTPUT			2011年度	2012年度
①	 事業所温室効果ガス排出量(t-CO ₂)		11,979	15,988
④	 国内社用車ガソリン(t-CO ₂)		1,806	1,746
②	 廃棄物等総排出量(t)		1,184	1,164
②	 リサイクル率(%)		87.2	89.2
③	 水排出量(千m ³)		128	144
④	 PRTR(t)		0.6	0.7

- ①> シスメックス(株)の全事業所、国内関係会社、工場および統括現地法人
- ②> シスメックス(株)の全事業所(リサイクル率は支店・営業所を除く)および工場
- ③> シスメックス(株)の製品・化学物質を取扱う事業所および工場
- ④> シスメックス(株)の全事業所および国内工場
- ⑤> シスメックス(株)およびシスメックス国際試薬のISO14001認証取得事業所

注) 2012年度にデータ対象範囲を左記のように見直しました。これにともない、2011年度のデータも集計し直したため、昨年発行の「シスメックスあんしんレポート2012」記載の数値と異なっている項目があります。また、温室効果ガス排出量の排出係数については、各電力供給事業者が毎年公表する排出係数を使用しておりますので、2011年度と2012年度の排出係数は異なっています。

公正な事業慣行

パートナー企業とともに公正な事業活動を追求

シスメックスでは、公正な事業活動を実現するために、強要・賄賂などの腐敗の防止や研究倫理の遵守などを徹底しています。また、バリューチェーン全体でCSR活動を推進するために、調達先や販売代理店などのパートナー企業との良き関係づくりに努めています。

腐敗防止

プロモーションコードに従って公正取引を推進

シスメックスは、グローバル・コンパクトの10原則の一つである「10.企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである」に基づき、腐敗防止の実践に努めています。

贈収賄などの不適切な行為を防止し、公正な取引を確保するための行動基準として「シスメックスプロモーションコード（SPC）」を制定しています。また、2008年度に設置した「公正な取引推進委員会」が、従業員のSPC遵守に向けた意識向上のために、継続して教育指導と調査を実施しています。

2012年4月には、SPCを改定し、医療関係者への飲食や娯楽などの提供に関する新運用ルールを追加しました。

また、従業員に対して、新運用ルールやSPCに関連する事例の研修会を開催し、10月にSPCの理解度テストも実施しました。

研修実績

テーマ：「飲食提供等の新運用ルール」および「透明性ガイドライン」
※e-ラーニング

実施時期：7月～8月

対象：プロモーション実践部門の従業員（約1,600名）

テーマ：SPCの関連事例

実施時期：年間随時

対象：プロモーションに関係する部門

安全保障貿易

安全保障貿易の管理体制を整備

シスメックスは、「安全保障貿易管理規程」に基づいて、安全保障貿易管理体制の強化に努め、輸出先や貿易貨物・技術の使用用途の確認を徹底しています。

国内では安全保障貿易管理担当者を各部門に配置し、自部門の管理強化や従業員教育を実施しています。2012年度は安全保障貿易と米国再輸出規制をテーマに、全社向けのe-ラーニングを実施しました。

このほか、グループ全体で管理体制を強化するため、統括現地法人と連携するためのシステムを導入し、管理の効率化を進めています。

財産権の尊重

他社の知的財産権侵害の防止に注力

シスメックスは、知的財産管理に注力し、自社の知的財産権の保護と活用、他社の知的財産権の侵害防止に努めています。

新製品の開発プロジェクトごとに、自社の知的財産を確保するための出願活動や第三者の知的財産情報のパテントレビューを実施しています。その中で知的財産部門の担当者として研究開発者をメンバーとする「出願検討会」を開催して、開発中の技術に関して特許出願の方針、計画を立案しています。また、第三者の知的財産権を調査し、知的財産に関わるリスクを低減しています。

また、2012年度は、商品の市場導入後においてもパテントレビューを実施しました。レビューの結果は、次の商品構想に活用しています。

2012年度の特許出願件数は、日本100件、海外195件で、特許保有件数（2012年度末）は、日本624件、海外899件です。また、環境関連の特許出願件数は6件となっています。

研究倫理の遵守

第三者を含む委員会を設置

シスメックスは、臨床研究開発やヒトゲノム・遺伝子の解析研究に取り組む企業として、「人間の尊厳の尊重」「個人情報の保護の徹底」などを基本方針とする「臨床研究開発及びヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理規程」を定め、法律・科学の専門家などの社外委員をメンバーに含む「研究倫理審査委員会」を設置し、研究内容を審査しています。

委員名簿や審査結果は当社Webサイトで公開し、透明性を確保しています。

バリューチェーンにおけるCSRの推進

調達方針

- 優れた製品の提供を通じた医療への貢献
- お取引先との信頼関係に基づく相互成長・発展
 - より良いパートナーシップ
 - 公正かつ透明性の高い購買取引
 - 関係法令の遵守と機密保持
 - 環境への配慮

品質方針説明会の開催

毎年、調達先に当社の事業の方向性と調達方針をご理解いただく機会を設け、関係強化に努めています。

2012年度は8月に「品質方針説明会」を開催し、74社、158名の方々に出席いただきました。説明会では、当社の事業活動や製品の品質向上に向けた取り組みなどを紹介し、調達先にご協力を呼びかけました。



品質方針説明会

調達部品・原材料の品質向上に向けて

お客様に、確かな品質の製品を安定的に提供するためには、調達部品・原材料の品質を維持・向上する必要があります。そこで、2009年度から、品質に関する要求事項を明示した品質保証協定書を作成し、その内容への理解を深めていただくための手引き書も準備したうえで、調達先との契約を締結しています。

また、調達先に対して、品質マネジメントシステムを自己診断できるチェックリストを提供するとともに、新規取引調査や品質改善指導を目的とした品質監査を実施しています。2012年度は、機器製品の部品調達先19社、試薬製品の原材料調達先15社に対して監査を実施しました。

調達におけるコンプライアンス意識の醸成

下請法の遵守を徹底するために、全社的にeラーニングによる教育を実施しています。また、電子購買システム(STM)を構築し、不当な代金減額や返品を防止するとともに、同システムに関する研修を毎年実施しています。2012年度は、研究開発部門に配属された新入社員を含む、29名がこの研修を受講しました。

販売代理店との間で基本となるコンプライアンスに注力

シスメックスは、販売代理店と良きパートナーシップを維持するために、コンプライアンスの徹底に取り組んでいます。販売代理店との関係において、従業員が遵守すべきルールとして「優越的地位の濫用禁止」「過剰な接待・贈物の禁止」などを定め、これらを遵守しています。販売代理店に対しては、新製品発売時に開催する「製品説明会」などでシスメックスのコンプライアンスに関する方針や活動を説明し、コンプライアンスの重要性を認識いただいています。

なお、海外の販売代理店に対しては、定期的に現地に訪問して打ち合わせをするほか、必要に応じてテレビ会議や代理店会議なども実施し、継続的にコミュニケーションをとっています。

期待を超える品質と満足を追求

シスメックスは、製品・サービスの品質をさらに高めるとともに、お客様の安全や使いやすさに配慮し、安心して使用いただくためのしくみづくりに精力的に取り組んでいます。

お客様が真に求めるものは何かを追求し、ご期待を超える満足を提供することを目指していきます。

品質の確保

品質方針

私たちは、ヘルスケア分野でのグローバルな企業活動を通じて、豊かな健康社会づくりに貢献します。

行動基準

1. お客様のニーズを把握し、お客様の期待を超える製品やソリューションを提供します。
2. 品質とは顧客満足であるという認識のもと、お客様の立場に立って行動します。
3. お客様に安心していただくために、徹底した品質保証とあらゆる業務における質の向上に努めます。
4. 独創的な新しい技術とナレッジによって、新たな価値を創り続けます。
5. 使用される国または地域の法令、規格等を遵守し、安全な製品を提供します。
6. 品質マネジメントシステムの有効性を維持するとともに継続的な改善を図ります。
7. 品質方針から品質目標を設定し、目標達成に向けて計画的に取り組めます。

2007年5月改定

グローバルな品質マネジメントシステム

シスメックスでは、「シスメックスコーポレーション品質コンプライアンス方針」に基づき、国際的な法令、規格などを遵守するための体制を整備し、活動しています。

品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001またはISO13485※1を、開発・生産機能を持つすべてのグループ会社で取得しています。2013年3月末現在、シスメックスグループ全46社中28社がISO9001の認証を取得し、また、ISO13485もグループ会社14社で認証を取得しています。

これらのマネジメントシステムが確実に運用されていることを確認するために、主要なグループ会社の品質活動についてマネジメントレビューや品質監査を実施しています。

また、全従業員を対象とした品質方針教育や、関連部門、職種や階層、地域にあわせた品質教育を実施しています。

このほか、毎年1回、「グローバルRAQA(レギュラトリーアフェアーズ・クオリティアシュアランス)ミーティング」を開催しています。この会議ではシスメックス(株)と、米州、EMEA※2、

中国、アジア・パシフィックの各統括現地法人や関係会社から品質保証部門の担当者が集合し情報共有することで、製品に関する法規制への対応や品質保証体制の強化に取り組んでいます。

※1 ISO13485:医療機器産業向けの品質マネジメントシステム規格。

※2 EMEA:欧州、中東、アフリカ地域。



グローバルRAQAミーティング

製品の品質を確保するために

臨床検査で用いられるシスメックスの製品は、人々の生命と健康を守るうえで極めて重要な役割を果たしています。そのため、製品の設計・開発段階において、世界各国の安全規格を満たすことはもちろん、さまざまなしくみを構築して、製品品質の維持・向上を図っています。

新製品の開発においては、市場に導入するまでのプロセスにおいて5つの「クオリティ・ゲート」を設けて品質を確認しています。また、シスメックスが販売する他社製品についても製造業者への監査や製品の検査を実施し、品質確保に努めています。

さらに、2011年4月から導入したグローバル品質苦情処理システムによって、グローバルかつタイムリーに市場から品質情報を収集しています。不具合情報を入手した際は、直ちに原因を究明し不具合品の市場流出を防止しています。また、法規制対応や業務品質向上に役立つ電子文書管理システムの構築も進めています。

さらに2012年度は、米国食品医薬品局(FDA※)など各国の薬事規制への対応および商品ラインアップ拡充に向けて、グループの薬事法規制に関する体制を強化しました。

※ FDA(U.S. Food and Drug Administration):食品、医薬品、化粧品および医療機器などの承認や規制、安全性や有効性の評価、臨床試験の規制などを専門的に行う米国の政府機関。

安全性・品質に関する情報

Webサイトで回収・改修の情報を開示

シスメックスでは、製品の回収・改修などの情報を「製品に関する重要なお知らせ」としWebサイトに掲載しています。

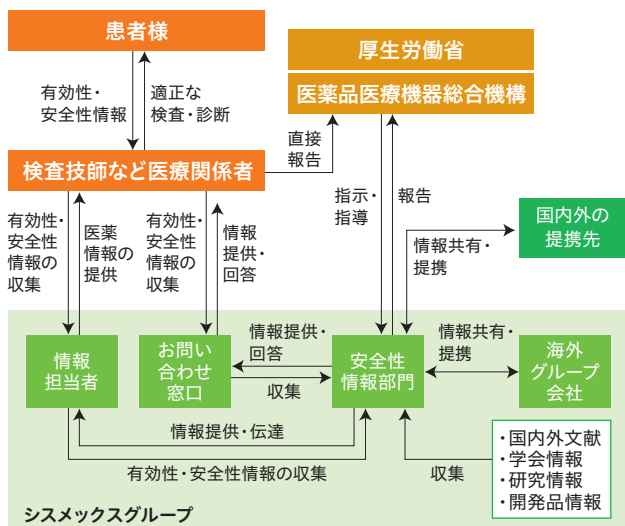
なお、2012年度に発生した自主回収・改修はありませんでした。

お客様からの情報を社内で共有化

シスメックスは、製品の品質と安全性に関する情報を管理する安全性情報部門を設置しています。

お客様などから寄せられた品質や安全性に関する情報を調査・分析し、その結果をお客様にお伝えするとともに、当社設計・製造部門などの関連部門と共有することで、品質の改善や新製品の開発などに活かしています。

製品の品質と安全性に関する情報を管理する体制



偽装試薬への注意喚起を実施

シスメックスでは、正確な検査結果を確保するために、医療機関のお客様には純正の装置と試薬のセットで使用いただくよう願っています。しかしながら、近年、一部の地域でシスメックス製試薬を偽装した試薬の流通が発見されています。これら偽装試薬を使用した場合、検査結果の信頼性が確保できず、場合によっては患者様に健康被害をもたらす危険性もあります。

こうした偽装試薬の市場流通状況を継続的に監視しており、偽装試薬を発見した場合は、各国の行政への協力や、必要に応じて司法への告発などに取り組んでいます。

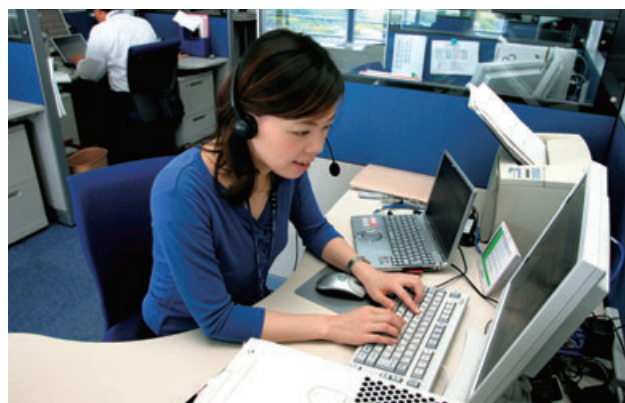
サービス&サポート

お問い合わせに、迅速・確実にお応えするために

シスメックス(株)では、日本国内のお客様のための相談窓口「カスタマーサポートセンター」を設置し、豊富な知識を持った専任スタッフが、24時間365日体制(別途契約が必要)でお問い合わせに対応しています。同センターでは、過去のお問い合わせ内容やメンテナンス履歴などを蓄積し、すぐに参照できるようにすることで、お客様からのお問い合わせ・ご要望に迅速・確実にお応えしています。

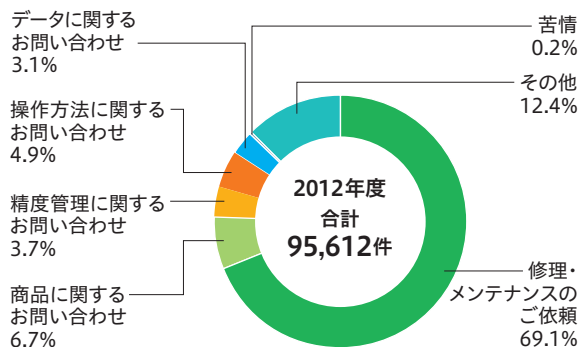
なお、相談窓口は米州、EMEA※、中国、アジア・パシフィックの各統括現地法人にも設置しています。

※ EMEA: 欧州、中東、アフリカ地域。



カスタマーサポートセンター

カスタマーサポートセンターへのお問い合わせ内容の内訳



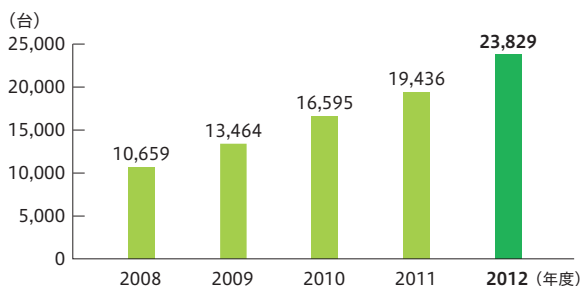
お客様の日々の精度管理をサポート

病院などの医療機関では、毎日の検査データの信頼性を確保するために検査装置の精度を日々管理しています。一般には「コントロール」と呼ばれる専用の試料を測定し、その結果を参考値並びに日々の測定結果と比較することによって、検査装置の状態をチェックします。

シスメックスは、このコントロールを提供してお客様の精度管理をサポートしています。さらに、お客様のもとにある検査装置と、当社のカスタマーサポートセンターをオンラインで結ぶ「シスメックス・ネットワーク・コミュニケーション・システムズ(SNCS)」を構築しています。カスタマーサポートセンターでは、このSNCSを通じてお客様の検査装置から送られてくるコントロールの測定値を受信し、データ異常の予兆を察知・判定して結果を返信するサービスを提供しています。

またSNCSを活用することにより精度管理同様、検査装置の故障予知・予防保守にも貢献しています。こうした予知・予防のサポート体制やネットワークを活用したリモートメンテナンスサポートなどの強化にも継続して取り組んでいます。

オンライン精度管理サービスに登録いただいている検査装置の世界累計



顧客満足度No.1に選定

シスメックス・ヨーロッパはドイツの調査機関が血球分析装置を取り扱う大手5社を対象に実施した「IVD Service Monitor 2012」において、前年に引き続き顧客満足度No.1企業に選ばれました。

満足度の高い製品・サービスの提供に向けて

シスメックスでは、継続的に参加している全国規模の学会・展示会で、来場者にアンケートを配り、当社のお客様対応に関するご不満や改善のご要望を伺っています。また、新製品の発売時にも、機能や操作性に関するアンケートを実施しています。これらのアンケート結果を関係各部門にフィードバックし、お客様対応や製品の改善に活用しています。

こうした取り組みに加えて、個々のお客様にあわせた対応ができるよう、お客様に関するさまざまな情報を一元的に管理できるCRM(カスタマー・リレーションシップ・マネジメント)システムの構築を進めています。

海外グループでの顧客満足度調査

海外グループでも顧客ニーズの把握に注力しています。

例えば、中国子会社であるシスメックス・上海は、年に1回、顧客満足度調査を実施しています。また、同社のサービス部門の協力を得て、シスメックス・無錫でも同様の調査を実施しています。これらの調査で得られた情報は社内各部門で共有し、製品・サービスの改善に役立てています。

2012年6月には、済南シスメックスが、地元済南市の食品薬品監督局からA級信用医療機器生産企業として表彰されました。本表彰では、食品薬品監督局が、医療器械の生産に携わる山東省の全企業を調査し、人員の状況、また各基準・法令の遵守状況を評価しています。済南市では全10社が表彰されました。

試薬の安定供給

医療に不可欠な検体検査を確実に実施できるように

シスメックスでは、製品の安定供給を確実に実施できるように、体制整備や施設の拡充を進めています。2012年度には、生産能力を1.5倍に増強した小野工場が竣工しました。さらに、中国の済南工場も生産量増加に柔軟に対応できるようにリニューアルしました。

また、災害時の対応として、原材料の調達プロセスなどの見直しも進めています。例えば、これまで国内で生産してきた品目を海外工場でも生産するようにし、リスクを分散するとともに、海外のお客様により早く製品を届けられる体制を整えています。また、調達リスクがある原材料の特定と代替化も進めています。



小野工場竣工式

学術活動

100カ国以上の国々で学術雑誌を発行

「シスメックスジャーナル・インターナショナル」を、世界100カ国以上の医療機関や大学図書館に配布し、多くの医療関係者の方々に臨床医学および検査に関する最新の情報を発信しています。

2012年度はこれまでの日本語、英語に加えて、新たに中国語版の発行を開始しました。

病気や検査をテーマとした絵本を発行

シスメックスでは、病気や検査に関する教育・啓発のための絵本を作成し、病院・診療所などの医療機関に配布して、待合室などに置いていただいています。

この絵本は、病気の特徴や検査・治療の方法について、わかりやすく紹介したもので、医学の知識がない方々や子どもにも興味を持って読んでもらえるよう、物語形式としています。

医療従事者向けの学術セミナーを開催

シスメックスは、医師や臨床検査技師などの医療従事者の方々を対象としたセミナーや勉強会を開催し、学術情報を発信しています。

2012年6月には、神戸・東京・仙台・名古屋・福岡の5会場を衛星中継で結び、「凝固・血小板研究の新展開～血栓症制圧に向けて」をテーマとして第35回シスメックス学術セミナーを開催しました。

また、中国、台湾、タイなどでも学術セミナーを開催しています。（詳細は、下記コラムを参照ください。）

中国学術セミナーの実施

2012年度、中国で血液検査分野の最上位機種「XNシリーズ」の販売認可を取得したのを機に、シスメックス・上海が「第15回学術セミナー」と「XN発売イベント」を開催しました。

中国における医療制度改革下での臨床検査などをテーマに、情報提供や専門家によるご講演、XNシリーズの紹介プレゼンテーションなどを実施しました。当日は、中国各地から1,200名もの医療従事者にご参加いただきました。



第15回学術セミナー

臨床検査技術の標準化を目指した研修プログラムを実施

2012年7月、山東省済南市で、臨床検査技術の標準化と、臨床検査技師への技術支援を目的として「医学実験中国協会」と「中国病院情報マネジメント協会」による研修プログラムが実施され、約150名の臨床検査技師が参加しました。シスメックス・上海は唯一のスポンサーとして、この公共の臨床検査研修プログラムに参加し、約2カ月かけて開催準備を進めました。

このプログラムは山東省における最大級のスケールを誇るトレーニングプロジェクトで、シスメックスのサポートは官公庁を含む参加者の皆さんに高く評価されました。



検査の標準化に向けた研修プログラム



グローバルに社会貢献活動を展開

シスメックスは、企業市民としての責任を自覚し、医療分野をはじめとして、幅広い分野にわたって積極的に社会貢献活動を実施しています。

グローバル企業として、その活動範囲は創業の地、日本の神戸から世界中に広がっています。

基本的な考え方

シスメックスは、今後の社会貢献活動の方向性を示した社会貢献方針を2012年5月に制定しました。

社会貢献方針

シスメックスは、豊かな健康社会、生き活きとした地域社会作りにつながる社会貢献活動を積極的に行うとともに、従業員の主体的な社会貢献活動を支援します。

■ 豊かな健康社会への貢献

ヘルスケア企業としての特徴を活かした社会貢献活動を積極的に展開し、より豊かな健康社会づくりに貢献します。

■ 生き活きとした地域社会への協力

「企業市民」として社会と価値観を共有し、社会貢献活動への賛助ならびに自らもその活動に参画することにより、生き活きとした地域社会の実現に協力します。

■ 従業員の社会貢献活動への支援

従業員がグループの一員であることに誇りをもち、市民として社会貢献活動を主体的に実践できるように支援します。

2012年5月制定

寄附講座の開設

2004年度から、神戸大学大学院医学研究科に寄附講座「立証検査医学(シスメックス)」を開設しています。同講座では、これまで、膠原病・リウマチなどの自己免疫疾患に関する調査研究をはじめとした新規臨床検査技術の研究活動が進められてきました。今後は、近年課題とされている「個別化医療」の実現に向けて、新たな臨床検査法の開発と、有用性の検証が進められます。本研究は、正確な診断を実現するのみならず、最も効率的で副作用の少ない医療を患者さんに提供できる方法論の確立につながるもので、社会に多大な貢献をもたらすと期待しています。

このほか、電子計測技術の発展を支援するため、1984年に設立した「中谷財団」を、2012年に「公益財団法人中谷医工計測技術振興財団」と改称し、生体に関する計測技術・関連技術についての研究を対象に表彰と研究助成を実施しています。

2012年度は、11件、1,600万円の研究助成を行い、設立以来の延べ助成件数は300件、累計助成金額は5億5,479万円となっています。

乳がんピンクリボン活動に協力

2004年度から継続して、乳がんの早期受診・治療を推進するピンクリボン活動を支援し、シンポジウムの開催などに協賛しています。社内でも、ピンクリボン自動販売機^{※1}を設置するなど、積極的にピンクリボンの啓発活動に取り組んでいます。

※1 ピンクリボン自動販売機：飲料代の1%が「乳がんをなくす ほほえみ基金」^{※2}に寄付される自動販売機。

※2 乳がんをなくす ほほえみ基金：公益財団法人日本対がん協会が設けた基金で、医療機関での乳がん検診機器の整備・拡充や患者の支援などが主な用途。

エコキャップ運動への参加

シスメックスは、2008年度からエコキャップ運動に参加しています。ペットボトルのキャップを送付すると、その数に応じて発展途上国の子どもたちにワクチンが寄贈されるというものです。2012年度はワクチン約300名分に相当するキャップを送付しています。

日本

神戸医療産業都市構想への参画

「神戸医療産業都市構想」は、産官学が協力して神戸市への医療・産業の集積を図るプロジェクトです。

シスメックス(株)は、プロジェクトの中心的な拠点の一つである「臨床研究情報センター」内に「シスメックス浅野研究室」を開設し、血液学の第一人者である浅野茂隆博士(東京大学名誉教授)のご指導のもと、自己免疫疾患の的確な病態診断や細胞療法の有効性・安全性を高める免疫診断技術の開発を目指して研究を進めています。

青少年の育成支援

シスメックス(株)では、毎年、インターンシップとして就業体験を希望する学生などを受け入れています。2012年度は、初の受け入れとなるインドからの学生3名を含め、15名に開発部門などでの就業体験の機会を提供しました。

また、地元の学生の見学を受け入れるとともに、兵庫県下の中学生を対象に実施されている職場体験プログラム「トライやるウィーク」にも毎年協力しています。

2012年度はこれらの取り組みに加えて、子ども職場見学会を8月に開催し、グループ従業員の子もたち18名にオフィスやショールームなどの見学、工作教室や、グリーンカーテンとして植えていたゴーヤの収穫などを体験してもらいました。

また、兵庫県下の理数系の高校生が研究成果を発表し、企業、大学、研究機関と交流するイベント「サイエンスフェア in 兵庫」にも毎年参加しています。



サイエンスフェア in 兵庫に参加

JICA研修生の受け入れ

シスメックス(株)は、毎年、JICA(国際協力機構)を通じて発展途上国の医療従事者を受け入れ、検査装置の使用方法などに関する研修を実施しています。

2012年度はアフリカから計3回研修生を受け入れ、工場・事業所の見学や技術研修などを実施しました。



受け入れたJICA研修生

「未来への手紙プロジェクト」を支援

シスメックス(株)は、公益社団法人日本フィランソロピー協会が主催する「未来への手紙プロジェクト」に支援企業として参加しています。これは子どもの誕生に関わる家族の物語や名前の由来などを手紙にして未来に残そうという運動です。2013年1月には社内託児所で関連イベントを開催しました。イベントでは、ご両親からお子さんに手紙で想いを伝えていただき、家族の絆を確かめ合っていました。

第2回神戸マラソンに協賛

シスメックス(株)は2012年11月に開催された「第2回神戸マラソン」に、前年に引き続き特別協賛しました。本大会では、約2万名のランナーにゼッケンを提供したほか、同時開催の「神戸マラソンEXPO2012」への出展や、従業員ボランティアによる給水活動など、全面的に大会をサポートしました。



第2回神戸マラソン

従業員の声

ランナーの皆さんが
安心して走れるよう
サポートしました。

シスメックス(株) IR・広報部
長井 梢



特別協賛企業として大会を盛り上げるための社内プロジェクトに参画しました。プロジェクトでは、大会テーマ「感謝と友情」に貢献したいとの想いから、従業員による給水ボランティアや応援団を結成、EXPOやWebサイト「シスメックス神戸マラソンスペシャルサイト」を通じてランナーの皆さんに役立つ情報を紹介するなど、大会を盛り上げるとともに、ランナーの皆さんが安心して走れるようサポートしました。2013年11月に開催される「第3回神戸マラソン」でも、地元神戸の活性化に寄与できればと思います。

地域の方々との交流イベント

シスメックス(株)は、地域住民の方々に当社にお招きし、交流を深めるイベントを毎年開催しています。

2012年度は5月にテクノパーク内の庭園を一般開放し、500名以上の地域住民の方々に来場いただきました。また、11月には、当社が所有する神戸ゆかりの洋画家・西村功氏の絵画展をソリューションセンターで開催しました。



テクノパーク内の庭園を一般開放

地域振興の支援

シスメックス(株)は、地元兵庫県の地域振興を目的とするイベントなどに対して寄付や協賛を通じて支援しています。

●神戸ルミナリエに協賛

1995年阪神・淡路大震災で亡くなられた方々の鎮魂の意を込めるとともに、神戸・兵庫の復興・再生への夢と希望を託して始まった「神戸ルミナリエ」に毎年協賛しています。

●神戸市立王子動物園の動物サポーター制度に協力

「動物サポーター制度」は、企業や個人が動物のサポーターとなって動物園の運営を支援するもので、当社はパンダのサポーター企業となっています。

●こうべ花絵じゅうたんに協賛

神戸市の名産である「花」をアピールするため、市内産の花壇苗を使用して数十m四方の大きな花絵をつくるイベント「こうべ花絵じゅうたん」に協賛しています。

●女子サッカーチーム専用練習場の建設に協賛

兵庫県に本拠地をもつ「INAC神戸レオネッサ」をはじめ、女子サッカーチームの悩みの種となっているのが練習場の確保です。シスメックス(株)は、こうしたチームを応援するべく神戸市と関連2団体が発案した日本初の女子チーム用練習場「神戸レディースフットボールセンター」建設に協賛しました。

環境保全への貢献

シスメックス(株)では、2008年度に環境保全活動に関心がある従業員が「エコチーム」を結成し、環境保全活動に取り組んでいます。

2012年度は、2011年度に引き続き、須磨海岸(兵庫県)での清掃活動「須磨海岸クリーン作戦」や、六甲山(兵庫県)で行

われている植樹・育樹活動「鶴甲の森づくり」に参加しました。

グループ会社でもそれぞれに取り組みを続けており、例えばシスメックスRAでは、長野県塩尻市の「クリーン塩尻パートナー制度」に参画し、延べ80名以上の従業員が、里山保全やエコウォークなどの活動に積極的に参加しています。



鶴甲の森づくり



エコウォーク(シスメックスRA)

当社製品を活用した震災復興支援

2012年7月、秋田県臨床検査技師会が主催する東日本大震災で被災された方々の健康チェックを無料で行う地域支援事業に、シスメックス(株)は検査装置を貸し出すとともに、当社の栄養管理士によるアドバイスなどを実施しました。当日は、小さい子供から高齢者まで幅広い世代の被災者の方を対象として、血液検査、尿検査、内臓脂肪測定などが行われました。



東日本大震災被災者の健康チェック

シスメックス女子陸上競技部を移転

シスメックス(株)では、世界の大舞台で活躍する野口みずき選手や、トップアスリートを目指す若手選手が所属するシスメックス女子陸上競技部を運営しています。

シスメックス女子陸上競技部は、これまで、京都市右京区に練習拠点を置いていましたが、より一層、地元・神戸の地域社会との交流を活性化するとともに、従業員と一体感のあるチームとして活動するため、2013年4月に本社のある兵庫県神戸市に拠点を移転しました。

米州(北米・中南米) ―

子どもたち向けのイベント開催

シスメックス・アメリカでは毎年、子どもたちを職場へ招待し、いろいろな体験の場を提供しています。

2012年度は、チームをつくって作業するアクティビティや各種のゲームを実施。最後に昼食をともにし、親子の絆を深めました。



イベントに参加した子供たち

社会貢献活動などに積極的に取り組む企業として「Companies That Care Honor Roll」を受賞

シスメックス・アメリカは、米国のNPOが主催する「Companies That Care Honor Roll」を受賞しました。この賞は、社会貢献活動や働きやすい職場づくりなどに積極的に取り組んでいる企業に与えられるもので、2009年から5年連続の受賞となります。



地元の高校生を支援

シスメックス・アメリカは、従業員のボランティア活動などを企業に促すことを目的として設立されたNPO「Companies That Care」の活動の一つ「Aim High Urban Mentoring Initiative」に参加しています。

この活動は、地元高校生のアドバイザーを務めたり、経済的な支援を継続して実施するもので、シカゴの公立高校の生徒3名を支援しています。

医療施設に検査装置を寄贈

中南米は、医療に関する多くの課題を抱えている地域の一つです。2012年度、シスメックス・ブラジルは、本地域の医療振興に役立ててほしいとの思いから、ペルー・アプリアク県内の病院に血液分析装置を寄贈しました。同病院は、アンデス地方での医療体制構築を目指すNPO法人Diospi Suyanaが運営しているものです。



Diospi Suyana病院に血液分析装置を寄贈

血液のがんの研究助成・患者支援などに取り組むNPOを支援

シスメックス・アメリカは、血液のがんの研究への資金提供や、患者支援などに取り組んでいる白血病リンパ腫協会を継続的に支援しています。

2012年度も白血病リンパ腫協会の募金キャンペーン「Illinois Man & Woman of the Year」にシスメックス・アメリカの従業員ボランティアが参加しました。

このキャンペーンは、参加者が独自に募金活動を企画・実行し、集まったお金を同協会に寄付するものです。当年度は、シスメックス・アメリカの従業員をはじめとして、その家族や友人、近隣住民を招いてダンスイベントや海岸でのパーティー、ゴルフイベントなどを開催し、78,803ドルを集めて寄付しました。

このほかにも、シスメックス・アメリカでは、アメリカ癌学会やアメリカ心臓協会に対する支援も実施しています。



白血病リンパ腫協会への寄付金の贈呈



従業員ボランティア
(キャンペーンを通じてサポートした少年と)

さまざまな観点から地域貢献を実施

シスメックス・ブラジルは、文化・スポーツ支援や医療への貢献といった観点から、多様な社会貢献活動に取り組んでいます。2012年度の主な活動事例は次のとおりです。

- 日替わりでミュージカルなどを行うクリスマスイベントに協賛(サンパウロ州サン・ジョゼ・ドス・ピニヤイス市)
- 自然の風物の写真をもとにしたアートを展示する環境イベントに協賛(サンパウロ州サン・ジョゼ・ドス・カンポス市)
- テニスやサッカーなどのスポーツに取り組む青少年1,000名以上を支援する「Development of High Performance Athletes」プロジェクトに寄付(ミナスジェライス州ベロ・オリゾンテ市)
- パラナ州内の病院で実施されている小児医療の振興プロジェクトへの支援を5年連続で実施(パラナ州クリティーパ市)



サン・ジョゼ・ドス・ピニヤイス市でのクリスマスイベント

大学生による会社訪問の受け入れ

シスメックス・ブラジルは、2012年4月、薬学やバイオ医学を学ぶ学生を国内2大学から招き、会社見学を実施しました。当日は検査データの信頼性を確保するための精度管理や血液検査の最新事情をテーマにした講義を実施したほか、試薬の製造工程などを見学してもらいました。



製造工程を見学

ヨーロッパ、アフリカ――

作業の一部を障がい者支援団体に委託

シスメックス・ヨーロッパとシスメックス・ドイツは、材料の選別やカートンの折り畳みなどを障がい者の自立支援に取り組む団体に委託し、障がい者の方々に自社の製造ラインで作業に取り組んでいただいています。

パソコンのモニタを地域の学校へ寄贈

シスメックス・ドイツでは、2009年度から「Sysmex helps children」という社会貢献プロジェクトを行っています。古くなったパソコンモニタを地域の学校へ寄贈する取り組みで、2012年11月には社内で集めた40台のモニタを小学校2校と高校3校へ寄贈しました。



寄贈したパソコンモニタと子どもたち

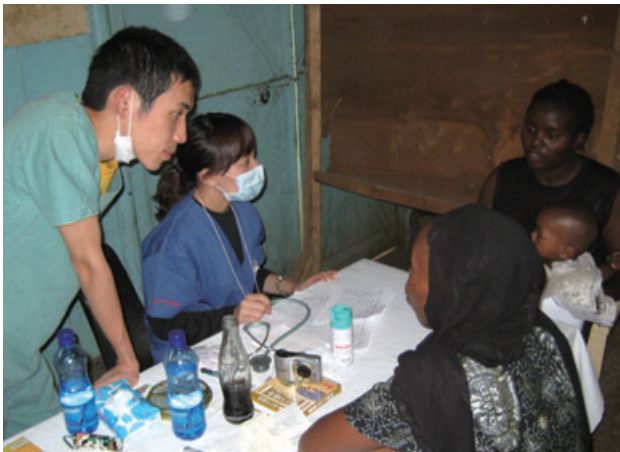
がん病棟に寄付

シスメックス・ヨーロッパでは毎年、社内でクリスマスチャリティのイベントを実施しています。2012年度は、従業員から集められた1,500ユーロに、会社からの寄付金をあわせて、計6,000ユーロをカールスルーエにある病院のがん病棟に寄付しました。

ケニアでの医療体制構築に取り組むNPOを支援

シスメックス(株)は、ケニアにおけるHIV/AIDS医療体制の構築活動を行っている団体「NPO法人イルファア」を支援しています。

同団体は、HIV感染拡大防止のための無料診療を定期的実施しています。2012年9月には、ケニア・プムワニ村で行われ、2,000名以上の地域住民が訪れました。



HIV感染拡大防止のための無料診療

中国、アジア・パシフィック——

海岸清掃の実施

シスメックス・アジア・パシフィックは、2012年7月、地元シンガポールの東海岸で海岸清掃を実施しました。当日は3時間で計20袋のごみを集めました。

ファミリーランへの参加

2012年10月、シスメックス・マレーシアの従業員とその家族がファミリーランニングイベントに参加しました。

当日は近隣の児童養護施設から8名の親のない子どもたちを招待し、従業員家族とともに17のチームを組んでレースに挑み、親睦を深めました。また、子どもたちには記念品としてランニングシューズをプレゼントしました。

子どもの自立支援施設を訪問

2012年10月、シスメックス・アジア・パシフィックの従業員50名が国内の子どもの自立支援施設を訪問しました。当日はゲームなどのアクティビティを実施するとともに、5,000シンガポールドルの寄付と、日用品やゲームなどを寄贈しました。

養護施設への訪問

2013年1月、シスメックス・マレーシアの従業員が、障がいのある子どもたちが暮らす地元マレーシアの養護施設を訪問しました。当日はさまざまなゲームを企画して子どもたちに楽しんでもらいました。



養護施設訪問

洪水被害の被災地を支援

2013年1月、インドネシアの首都ジャカルタで、豪雨のため大規模な冠水が発生し、30,000名以上が避難を余儀なくされました。シスメックス・インドネシアでは、貧困地を主な対象に、物資・精神の両面から被災者を支援することとしました。

避難所への水や食料、ベビー用品などの寄贈や、被災者の方を元気づけるためのボランティア活動を実施しました。プンジャリガン郡では避難所の一角にマッサージコーナーを設けたほか、子どもたちを誘って歌や遊びなどのレクリエーションを行いました。



支援物資の積み込み

インドからのインターンシップ生を受け入れ

シスメックスでは、事業を展開する海外地域での就職支援の一環として、就業体験を希望する学生を毎年受け入れています。

これまで韓国や中国、ロシアなどからインターンシップ生を受け入れてきましたが、2012年5月は、インドから3名の学生を日本に招き、工場見学や装置のメンテナンスなどを体験してもらいました。インドからのインターンシップ生の受け入れはこれが始めてです。

これらの取り組みは、海外の学生に興味をもってもらうきっかけとなるものです。地域社会とともに発展していくことを目指して、今後も取り組みを続けていきます。



インドからのインターンシップ生の仕事体験

マレーシアで裁縫学習センターを支援

シスメックス・マレーシアは、シングルファーザーやシングルマザーへの寄付金を募る目的で設立されたNGOジャンブルステーションが運営する裁縫学習センターの設立に際して、寄付金3,000マレーシアリングギットを寄贈しました。

2012年5月には開会式が開かれ、シスメックス・マレーシアから22名、シスメックス・アジア・パシフィックから2名が出席しました。

この裁縫学習センターでは、収入につながる技術を身につ

けることを切望している主婦やシングルマザーを対象に、地元の有名なデザイナーが格安で裁縫教室を開催しています。彼女たちは洋裁の注文を受けることができるようになれば、生活費を得ることができます。

将来的には裁縫だけでなく、英語教室や子ども向けのアート&クラフト教室も開催する予定です。シスメックス・マレーシアは、今後も地元の人々の豊かな暮らしを願って教室の運営を支援していきます。



マレーシアの裁縫学習センターの皆さん



「シスメックス あんしんレポート2013」を読んで

ISO26000をもとにした編集

シスメックスの「あんしんレポート」は、昨年度からISO26000の7つの中核主題にそって構成されており、今年もそれを踏襲され、包括的でわかりやすい報告書に仕上がっています。今年度は、さらにCSRの中期計画を設定されたことで、CSR活動のPDCAサイクルを回して、社会的課題を解決していく体制が整ってきました。このことは高く評価することができます。今後は、この目標がどの程度達成され、どのような課題が残るかについて、各報告のページで具体的に記述されれば、報告書としてより一層内容の充実したものになると思います。また、新たにスタートされた中期経営計画との関連性を明確にしていくことも重要であると考えます。

「シスメックスグループ環境行動計画（エコビジョン2020）」の見直しと中期環境目標の設定

エコビジョン2020の長期環境目標については、「製品・サービス等の環境配慮」と「事業所の環境配慮」に集約化して再整理が行われるとともに、2013年度から2015年度までの中期環境目標を設定されました。このことによって、環境目標がより具体的になり、マネジメントしやすくなったと思います。製品・サービスと事業所は、環境対応について内容がかなり異なりますので、分けて取り組む方が合理的です。環境に関しては、今後はサプライチェーン全体で対応することが、世界的に求められるようになってきています。シスメックスでも、次の課題として、サプライチェーンでの環境対応の可能性を検討されるべき時期に来ているように感じます。



神戸大学大学院
経営学研究科教授
國部 克彦 様

グローバルCSR活動情報の充実

シスメックスの報告書では海外でのCSR活動の情報が非常に充実しています。これはシスメックスが海外での活動を重視していることの現れと思います。グローバルなレベルでCSR活動を充実させることは大変重要なので、高く評価できると思います。今後は、活動されている各地域でのCSRの意義をより深く分析されて、体系的かつ有効に活動を進めていただきたいと思います。たとえば、マテリアリティの分析を各地域で行われると、地域からの理解と協力も得られやすくなると思います。さらに今後は、統合報告への流れが加速されると予想されますので、グローバルに通用するCSR活動をさらに充実させてほしいと思います。そのためには、CSRを評価するためのKey Performance Indicator (KPI)の確立が次の課題になると思います。今後の一層の発展を期待しています。

会社情報

会社概要

社名	シスメックス株式会社 SYSMEX CORPORATION	事業内容	臨床検査機器、検査用試薬 ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・ 販売・輸出入
設立	昭和43年(1968年)2月20日	主な販売先	国公立病院、一般病院、大学、研究所、 その他医療機関 ほか
資本金	97億1,177万円(2013年3月31日現在)	輸出先	世界170カ国以上
代表者	代表取締役会長兼社長 家次 恒	関係会社	44社(国内7社、海外37社)
本社所在地	兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号		

事業内容

検体検査事業

検体検査事業では、血液や尿、細胞などを採取して、その成分を分析するための機器・試薬・ソフトウェアをお客様にお届けしています。特に、赤血球・白血球の数や機能を調べる検査装置(血球計数検査)、血液の固まりやすさを調べる検査装置(血液凝固検査)では、トップブランドとしてお客様から評価いただいています。また、シスメックスは機器だけでなく、試薬やソフトウェア、さらには検査装置のメンテナンスや、学術サポートなど幅広い製品とサービスを

を融合し、検査業務の効率化とともに質の向上をご提案しています。

ライフサイエンス事業

シスメックスは検体検査事業で培った技術をもとに、遺伝子、タンパク質などを調べる最新のテクノロジーを用いて、全く新しい検査・診断技術の創出に注力しています。主にがんの確定診断や再発予防を目的とした研究開発を行っており、がん細胞のリンパ節への転移の有無を短時間で調べる検査技術については、世界各国で市場導入を進めています。

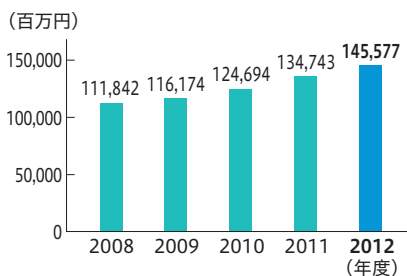
また、抗がん剤の効果を調べる技術については、事業化に向けて研究開発を進めており、患者さんのQOL向上への貢献を目指しています。

その他事業(ヘルスケア分野など)

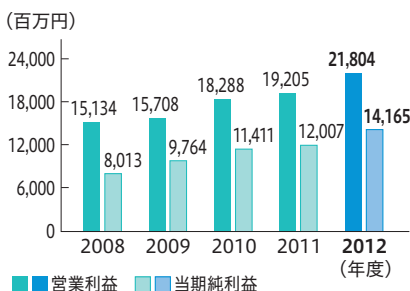
採血せずにヘモグロビンを推定できる装置のほか、健康管理支援や保育業務支援など、各種ソフトウェアを商品化し販売しています。また、検体検査事業で培った計測技術を応用し、工業分野向けの粒子計測装置の開発を行っています。

財務データ

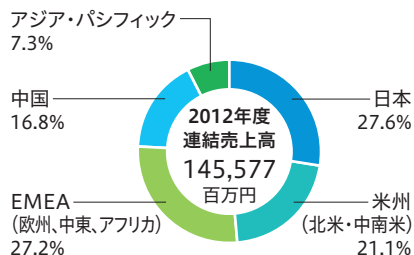
連結売上高



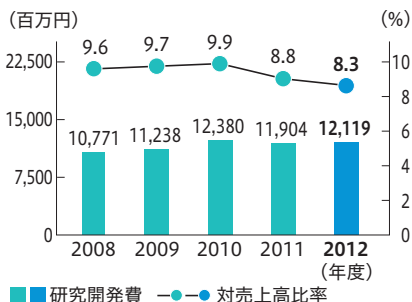
連結営業利益/連結当期純利益



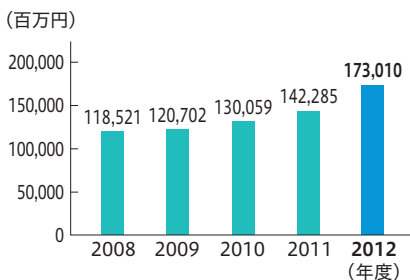
地域別売上高



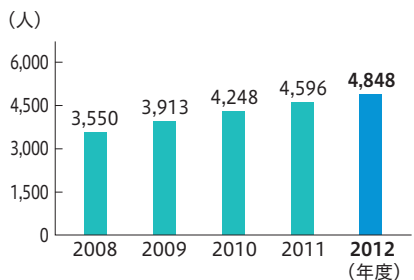
研究開発費



連結総資産



グループ従業員数





We Believe the Possibilities.

シスメックス株式会社

神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 〒651-0073

Tel 078-265-0500 Fax 078-265-0524

www.sysmex.co.jp